

# 老健 しずおか



第14号

静岡県老人保健施設協議会機関誌



撮影：沼津市 <sup>みと</sup>三津



静岡県老人保健施設協議会

会長

平田善章

## ご挨拶

次から次へと変わる介護制度、介護報酬体系、介護へのニーズなど、会員の皆様にはいろいろ御苦労されておられることとお察し致します。急速な少子高齢化の進行するなかで、少子化と高齢化の問題は表裏一体の問題を抱えているであろうと思われます。社会保障給付の配分の問題もさることながら、介護業務を若年労働者に頼っているところも問題点かもしれません。老健施設は、二十年前に発足した当時とは、その存在目的、意義も大きく変化しています。

現状では、かつての中間施設としての役割は、殆ど果たされていないことは周知の事実です。医療を必要とする利用者は、明らかに増加しています。また経管栄養を必要とする、看取りを必要とする場合などさまざまです。医療をより多く必要とする利用者さんが増加していることは、老健施設にとって経営的に負担となって来ています。療養病床の再編を見直す、介護療養型医療施設の廃止の凍結という民主党の方針は、それなりに、評価出来ますが、今後どうなるのかについては、何ら明示されていません。少なくとも、老健施設における医療費負担の軽減は、焦眉の急でしょう。また短期間の内にころころ変化する政策に振り回されている我々介護従事者、利用者の身にもなって下さいと言いたい。

今後も政権政党が変わる毎に、振り回されないことを願わざるを得ません。

## ご挨拶



静岡県厚生部長寿政策局

介護保険室長

佐野 龍 司

曰ごろ、貴会及び貴会会員の皆様には、本県の高齢者福祉の推進に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国における少子高齢化は他の先進国に例を見ないようなスピードで進行しており、高齢化の進行による年金・医療・介護などの社会保障制度を維持するための財政上の困難に直面しております。制度がスタートして十年が経過した介護保険についても、制度として定着する一方、要介護認定者の増大に伴う給付費の増や介護従事者の確保対策、提供するサービスの質の向上あるいは医療との連携等、その課題や問題点が種々議論されております。

こうした中で、介護業務従事職員の処遇改善を主な目的とした報酬の改正や、処遇改善交付金制度を始めとした介護人材の確保・定着を図るための支援事業が次々と創設されるなど、他の産業分野より低いと言われる待遇の改善や、従事する職員の質的向上を図るための諸条件がようやく整ってきたのではと感じています。介護従事者の定着や質的向上は、最終的には介護サービスを受ける利用者の利益に繋がっております。是非この機会を逃さず、各施設・事業所の体質強化や、より優れた人材の確保・育成に積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、本年一月から二月の二週にかけて、県の広報番組として東部地区所在の介護老人保健施設での取組をテレビで紹介させていただきましたが、高齢者の方々が要介護状態になった場合でも、進んでリハビリテーション等の適切な保健医療サービスや福祉サービスを利用することで、自らが持っている能力を維持・向上させていただくことが求められております。今後も各介護保険施設等で取り組まれている好事例の紹介を通して、介護技術の普及・向上に努めていきたいと考えておりますので、是非、御協力をお願いします。

最後になりますが、貴会及び貴会会員の皆様におかれましては、介護老人保健施設の役割と理念を踏まえ、在宅生活を支える地域での拠点として、益々御活躍いただくようお願いいたします。



## タカネ園

タカネ園は、四方に茶畑が広がり、南遠方に駿河湾を眺めるのどかな環境にあります。季節の移り変わりを感じて頂けるよう園庭に咲く季節の花や木々、風景写真に加工を施し、クラブや催し物のある日が目でわかるようタカネ園独自のカレンダーを作成し、各自の部屋と園内に表示してあります。全職種の職員とボランティアで行っている多種多様のクラブの中から利用者様自身が選択し、参加した仲間とのコミュニケーションの輪が広がり満面の笑みが見られます。どのような方にも何かを伝え感じて頂きたいと、幼い頃習った歌や若い頃口ずさんだ歌など、慣れ親しんだ音楽をあらゆる形で日常に取り入れています。老いや障害に不安をもって利用される方が、「老いも魅力」と笑顔で楽しく過ごして頂けるよう専門スタッフの知識と技術と真心で応えたいと援助に努めています。



専門スタッフの知識と技術と真心で応えたいと援助に努めています。

## リバブル ケア

私達リバブルに係る全スタッフは“自分の家族の一人が利用されている”そんな気持ちで生き甲斐と安心のある毎日を過して頂くのが願いです。お一人お一人の心身の機能やお気持、そして願いを大切に、ご本人自らが少しずつでも回復を図り“自信の笑顔”を重ねて頂くのもスタッフ全員の喜びです。そして私達は人生の大先輩との会話と笑顔を背中から様々を学び、ケアを通して新しい自分を発見する喜びも大切にし乍ら頑張っています。

5月の朝の散歩、さわやかな風  
満開のサクラと菜の花畑の前で♪

作業療法、貼り絵共同制作  
アンパンマン、散歩中の保育園児の  
“かわいい見学者”に囲まれて♪



♪12月、焚き火を囲んでグループ  
毎でやさしい。苦しかった頃の  
思い出話もついでで…



♪午後のレクリエーション リハビリ、ボールを使って  
得点ゲームはいつもスタッフと子どもハッスル

## ヒューマンライフ富士

- ◎背後に雄大な富士山を仰ぎ、正面には駿河湾を見渡す静かな環境です。明るく広く機能的な空間です。
- ◎平成5年に新富士病院の併設型老健として開設し、現在は179床で運営しています。
- ◎老人保健施設の役割り、機能の更なる向上に取り組み地域に必要とされる施設を目指します。



## みくりや園

当園は東に箱根、西に富士山と自然に囲まれた場所にあります。ひとたび窓を開けると、近隣の商店街の賑やかさや小学校のグラウンドから子供たちの元気な声が聞こえ、ご利用者の顔も自然とほころびます。

入所定員67名と、施設としては小さな規模ではありますが、その分ご利用者同士、スタッフとの交流も深く、これからも当園らしい温かみのある介護に努め“私もいつかはこの施設に…”と思える環境を提供していきたいと思っています。

また、園内には習字・踊り・アロマ・アニマルセラピー等のボランティアの方が見え、ご利用者も毎回楽しみにしています。習字では“書く”だけでなく、中には思いのまま“描く”方もいます。そのような時、改めて決められたことだけでなく、その人らしさを大切にして、これからも介護をさせて頂きたいと思っています。



報徳太鼓（納涼祭にて）



## 安 寧 の 郷

安寧の郷は今年で開設16年を迎えました。現在、入所されている利用者さまにおかれましては、入所中の生活はもちろんのこと、退所後の生活が心身共に豊かになっていただけるようリハビリや食事のメニューなどに工夫を凝らし実施しております。

今後も利用者本位の温かみのあるサービスの提供とともに、日々刻々と変化する環境の中、老健の理念と役割でもある「地域に根ざした施設」に向けて、職員一同これからも精進してまいります。



## 富士ケアセンター

富士ケアセンターは、富士宮市の南部、明星山の麓に施設を構え、入所定員100名、通所定員60名の施設です。雄大な富士山を正面に望み、豊かな緑に囲まれ、四季折々、移り行く変化を毎日楽しむことができます。

併設の富士リハビリ病院（精神科）と協力し、精神面でのケアや認知症への対応にも力を入れています。ご利用者の多様なニーズに応えられる施設を目指し、これからも、職員一同一層の努力を続けてまいります。



（施設正面からの風景）

## 長泉ケアセンター 博寿園

北に富士、南に駿河湾が広がる環境のもと、今年で開設16年目を迎えます博寿園は総勢8名の理学療法士と作業療法士を擁し、大変好評を頂いております訪問リハビリテーション「すこやか」を始め、通所リハビリテーションや在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所を併設し、各ご家庭や病院、他の福祉サービス提供者、関係行政者等と密接な連携を図り、総合的なサービスの提供を行っております。

又、365日24時間休みなく診療を続けている池田病院が隣接している為、医療面においては安心な上に、理事長の池田病院院長の方針で常に生き活きと楽しく毎日を過ごせる施設を目指して頑張っております。



## 梅 名 の 里

～ 施設理念『地域と共にくらす梅名の里』～

『梅名の里』は、三島市街地の南に位置し、長閑な田園風景を見渡す自然を感じられる施設です。入所棟【定員100名】と通所棟を配し、どちらの棟からも窓からは雄大な富士山を望むことができます。

今年で開設16年目を迎えます。これまでを振り返ってみると、3年目に通所棟（現在、介護予防通所リハビリテーション【定員10名】・通所リハビリテーション【定員50名】、10年目には認知症対応型通所介護『デイサービスセンター梅名の里』【定員21名】が開設し、本年度より小規模型（介護予防）通所介護『こうめちゃん』【定員13名】を開設しました。これまで地域の方々に支えられ、地域と共に梅名の里も成長して参りました。

これからも、利用者様やご家族、そして地域のニーズに、より柔軟に対応できるよう努力することはもちろんのこと、利用者様に楽しくお過ごしいただき、『楽しかったよ』『また来るよ』と“笑顔”で帰宅いただけることを働き甲斐として、日々努力して参ります。





## あすなろ

あすなろは、地域からの支援を頂き15年目を迎えることができました。

日々、利用者様の質の向上を考え、余暇活動の充実に力を入れ、誕生会、職員が作るラーメン屋、外出しておやつをとることや、そして、園芸活動や音楽活動など色々なことを行っています。

家庭的な雰囲気を大切に、職員一同が笑顔で明るい介護をこれからも行っていきます。



## おおひら

当施設では多くの方から「広い」「明るい」「清潔」とのお言葉を頂き、衛生的な環境づくりも「選ばれる施設」としての重要な要素だと感じております。

駐車場から居室まで全面バリアフリーとした広々とした利用者フロア、東西からの明るい陽射しと高い天井を有する食堂に大きな採光壁を採用した増築棟、日々清掃の行き届いた館内。そして利用される方々の明るい笑顔。

私たちは「家庭復帰の足掛かりの場」として生活能力の向上を図り健やかな生活のお手伝いを致します。



## ききょうの郷

ききょうの郷では、入所・ショートステイ・通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション、併設する訪問介護など、多機能サービスを駆使して、多様なニーズにお応えする体制を整えております。

『自らが受けたいと思う医療と福祉の創造』を理念とし、介護予防から生涯を通じて、個々に合った生きがいを見出せるよう、リハビリにおいても、生活や人生の再生、回復に主眼をおいております。

どんなに年老いても、どんなに障害があっても、なお輝く人生がある。私たちはその可能性と未来を信じ、人生のリハビリに関わり続けます。



## 熱海ナーシングホーム翔寿園

温泉保養地熱海市に位置し、天然温泉の源泉を有する当施設。冬も温く恵まれた環境で年寄り各個人とその御家族（介護者）の心身の状況や、病状に合わせたリハビリテーションを中心とした医療サービスと、レクリエーションや教養娯楽のための催しもの等の、生活サービスを行い家庭的な雰囲気を保ちながら家庭復帰の支援をします。





## のぞみ

伊豆の豊かな自然の中にある「のぞみ」は、今年で11年目を迎えることができました。

地域に根ざした施設として、保健・医療・福祉の連携のもとに家庭的な雰囲気を大切に、真心と責任を持って支援しています。

入所定員100名(短期入所4名含む)通所リハビリ20名、併設で居宅介護支援事業所、地域包括支援センターがあります。また、関連施設として、「伊豆のさと診療所」が隣設しており、主として透析治療を行い、当施設でも透析加療中の方を受け入れています。

季節の行事やレクリエーションを通して、楽しく穏やかな施設生活を過ごしていただくように努めると共に、今後も利用者様のニーズにこたえられるよう、皆様に選ばれる施設として努力して行きたいと考えます。



## ラ・サンテ ふよう

ラ・サンテとは『健康』を意味するフランス語です。利用者の方たちが健康でいられるよう、全ての職員が情熱をもってケアに取り組んでいます。

私たちの施設は、三島市北部の高台(芙蓉台)に位置し、北は富士山を、西は駿河湾を望む絶景の場所です。

全ての職種が連携をくみ、在宅復帰・自立支援のための短期・集中的リハビリテーションを展開しています。また「身体拘束ゼロ宣言」を行い、利用者様の人権を尊重したケアに努めています。パワーリハビリテーションによる活動性の向上や、管理栄養士による栄養相談、歯科衛生士による口腔ケアなど介護予防にも積極的に取り組んでいます。リハビリだけでなく、利用者の方たちの生活の彩りと日々のレクリエーションやクラブ活動も活発に行っています。



## 河津おもと苑

河津桜まつりで賑わう町なかを通り過ぎ、山へ山へと登っていき、山々の木々の中に河津おもと苑があります。一般棟30床、認知棟20床、通所12名の小さな老健です。初めて来苑される方には「道に迷ったかと思ったけど若葉、青葉に囲まれて良い所ですね。」とほめ言葉を戴いております。今年も河津桜まつりが始まり利用者様のお花見も始まり、バラ園、しょうぶ園、あじさい祭、紅葉狩り、又足湯と苑外レクがめじろおしです。

在宅復帰施設の老健が少しずつ特養化してきている状況ではありますが家に帰りたい、家ででの生活を維持していきたいとの熱く、強い気持でリハビリに精出している利用者様に支えられ、ひとりでも多くの利用者様が自宅に戻られるようリハビリ・レクリエーションの新しい企画を考え、入所者様と共にスタッフ一同がんばっております。



## みゆきの苑

富士宮市のほぼ中央に位置し、入所定員109床(うち認知症専門棟36床)通所定員70名の、南富士病院併設の施設です。

当施設の理念は「明るく、家庭的な雰囲気の中で、笑顔と温もりのある療養生活が送れ、利用者的一天も早い家庭復帰をめざして地域に開かれた施設」として、地域の皆様やご家庭とのつながりを大切に考えた運営を行っています。

毎月開く“お誕生会”や四季折々のイベントには、地域のボランティアの方々にご出席いただき、楽しいひと時を過ごしております。





## な ぎ さ 園

当施設は、伊豆半島南端に位置する介護老人保健施設として、平成13年4月に開設し、今年で10年目を迎えます。

海と山に囲まれた静かで、暖かい気候の中、なぎさ園の理念である「手から手へ心から心へつなげる施設～心地よい生活空間を～」をモットーに、日々スタッフ一同、一丸となって取り組んでいます。

また、伊豆半島南部の唯一の公的病院である共立湊病院が併設し、協力病院として、緊急時における支援体制も整っています。

安心と安全を考慮し、地域に根ざした施設として、笑顔あふれるサービスを提供しています。



## し お さ い

しおさいは、平成12年4月に開設し、今年で11年目を迎えます。健育会のビジョンであるクライアントの“心を豊かにする”、そして当施設のモットーである“もう一つの楽しい家”に重きを置いた施設環境の整備に職員一丸となって取り組んでいます。入所定員46名、短期入所定員4名、通所リハビリテーション定員30名、訪問リハビリテーションの施設です。又、急性期の病棟を備えた24時間体制の協力病院「西伊豆病院」が隣接しているため、緊急時における援護体制も整っています。今後も老健の理念、役割と機能を基に地域の皆様に『質の高い医療・介護サービス、そして、安心』を提供していきます。



## グリーンス 修善寺

グリーンス修善寺は、平成14年4月に開設し、新年度から9年目に入ります。

伊豆市役所の前に位置し、入所定員100名、通所リハビリ定員30名の施設であり、伊豆市で唯一の老健施設として地域の期待をになっています。

人道、博愛の赤十字精神のもと、ご利用者のお気持ちと人格を尊重したケアサービス、清潔で快適な生活空間、おいしい食事の提供に努めております。

特に伊豆赤十字病院に併設されているため医療面では恵まれています。

今後共地域の皆様に親しまれ、ご利用者にご満足いただけるサービスの提供ができる施設となるよう、職員一同、より一層の努力を重ねてまいりたいと考えております。



## ひ ろ み

ひろみは、東名富士インターから北東へ約5分の場所にある、広見団地内の閑静な住宅街に位置しています。平成14年4月に開設し、今年で8年目を迎えます。入所定員90名（短期入所療養介護を含む）、通所リハビリテーション40名の施設です。

“自分が利用したいと思う施設”を目指して職員一丸となって取り組んでいます。

リハビリテーションでは、個別リハビリの他に小集団での転倒予防体操、すわるピクス、療養音楽、精神活性化グループ、回想法、作業療法、学習療法、CGTを実施し、希望者には、余暇時間を使ったぬり絵や手芸の提供をしています。

今後も、明るく活気ある生活を送っていただける様スタッフ一同努力致します。





## 椎 路 の 里



椎路の里の特徴でもある「実りの広場」や「ふれあい広場」は、四季折々の自然を楽しむ事のできる園芸屋外活動の場所です。花や野菜の手入れをしたり、

風物詩でもある屋外食を味わい散歩しながら過ごす時間は、自然と口元がほころんでしまいます。そんな環境の中利用者様のニーズに応え、季節の風を肌で感じて頂きたいと、数あるクラブ活動の充実をはかり、新たに「お散歩クラブ」をスタートさせました。集団生活から個の生活に目を向け、その人が何を思い求めているかを感じる事が出来る気づきの時間を期待しています。又、日々の多種に渡るクラブ活動作品や作業療法作品を施設内で掲示紹介しており、ご家族の方に観賞して頂いております。これからも皆様の生活に潤いのある心安らぐひと時を過ごして頂けます様、他職種連携のもと、共に励んでまいります。



## サ ン 静 浦

サン静浦は、西に駿河湾、東に沼津アルプスの山並みを見渡す場所に位置します。

また、施設の隣りにはコンビニや銀行もあります。バス停まで1分と何かと便利な所です。

ご利用者様にはお一人お一人のリズムに合わせ生活して頂きたいと、施設職員全員でサービス提供に取り組んでおります。

美味しい食事の提供と楽しいレクリエーションやクラブ活動、月毎の行事など利用者様に楽しく過ごして頂けるよう職員全員で考え取り組みます。

ご利用者様には、いつまでも健やかに過ごして頂きたいと思います。



## みしゅくケアセンターわか葉

みしゅくケアセンターわか葉は、東名裾野病院の併設施設として、平成15年11月に開設しました。

雄大な富士の裾野に位置し、一般棟54床、認知棟46床、通所リハビリテーション定員40名の施設として、地域の皆様に支えられ、7年目を迎えました。

各専門スタッフのもと、利用者様の持てる力、残された力、秘められた力を生かし、生活リハビリを通じ、生活の自立支援に努めております。毎月の行事食の提供や季節行事は、利用者の皆様に喜ばれております。

家庭や地域との結びつきを大切に、利用者様、おひとりおひとりにあったサービスを提供できるよう、そして明るく笑顔いっぱいの日々を過ごして頂けるよう目指しております。



## 夢 の 樹 の 郷

当施設『夢の樹の郷』は東洋一の湧水量を誇る柿田川が近く、霊峰富士がすそのまで眺められるといった眺望など、景観や自然に恵まれた場所に位置しています。

この恵まれた環境の中、医師を中心に各職種の専門性を生かして生活援助をさせて頂きつつ、一年を通してご家族様や地域の皆様のご協力を頂きながら、納涼祭、餅つきなどの催しを行っています。また暦ごとの行事食で四季を感じたり、職員と一緒におや



つを作ることで昔を懐かしんだり、楽しい時間を満喫できるよう趣向を凝らしています。

職員一人一人がご利用者様から学んだ知恵や考え方を大切にし、「今日のことは今日して差し上げる」ことで、『夢』を見ながら笑顔で生活ができる空間を創作できればと考えています。



## みはらし

伊東市介護老人保健施設みはらしは、平成18年4月1日に伊東市が開設者となり、公益社団法人地域医療振興協会が指定管理者の指定を受け開設し4年が経ちました。



施設の利用定員は、一般入所85名、認知症40名(短期入所含む)通所リハビリテーション30名となっております。

内部空間においては、曲線廊下で家庭的な雰囲気を演出できるようS字型の形状になっています。施設理念「利用者の皆様の個性を尊重し、安全に配慮しつつ生活機能の維持・向上を支援し、在宅での自立を支援します」のとおり温泉を利用した個別浴、個別リハビリ、栄養マネジメントに重点を置いた利用者一人ひとりに合った介護計画を基に、常に安心に心がけ、ご利用される皆様が生きていくとした在宅生活を送れるように、地域の皆様のご協力のもと自立に向けて共に支援してまいります。

## いかる野

いかる野は、富士山の麓、白糸の滝上に位置しており、今春5年目を迎えます。施設の展望テラスからは季節ごとと変わる富士山を楽しむことができ晴天の日には遠方に伊豆半島も眺望できます。

入所は定員100名、通所は定員40名で施設内に居宅介護支援事業所フジヤマがあり地域に根ざした信頼されるサービスを提供したいと日々頑張っております。

また、施設スタッフは安心のある毎日を過ごして頂くために、お一人お一人の心身の機能とお気持や願いを大切に、自分の家族の一員が利用されているこんな気持ちで毎日、ケアに取り組んでおります。



(秋祭り 各フロアーを練り歩き)

## いとうの杜



私たちの「いとうの杜」は、昨年11月で開設3年を経過し、皆様方に多大なご支援を頂き無事4年目を迎えることが出来ました。

去年は色々新しい試みをしました。地域の皆様のご協力の下、開所以来初めて野外で夏祭りを開催し大盛況でした。また、職員による蕎麦打ち実演や、近隣学生による郷土踊りやボランティアの方々による舞踊やカラオケ大会、バイキングに食事会等、レクリエーションや地域との交流に力を入れて来ました。ご利用者の皆様方も大変喜ばれていました。また、定期的に勉強会や研修等を行い、職員の意識向上や個々のレベルアップにも力を注ぎました。今後ともご利用者の皆様方に日々喜んで生活して頂けるよう、職員一同、一致団結して努力を怠らないようにして参ります。



## ふれあいの下田

伊豆地域は高令化率の増加に伴い、介護を必要とする高齢者は年々増加していますが、介護保険法の改正に伴い、益々利用者本位の質の高いサービスが要求されています。

平成18年4月に開設致しました「介護老人保健施設ふれあいの下田」は入院治療の必要まではないが介護の必要のある方や、退院後のリハビリテーションが必要な方に、長期入所、短期入所、通所リハビリテーションをご利用いただいております。

地域の皆様、ご利用者様、ご家族様に喜んで頂き、豊かな地域社会の創造に貢献したいと我々は考えています。





## かぐや富士

美しく雄大な富士の山。その山に育まれた壮麗な景色が望める位置に「かぐや富士」はあります。

当施設は入所定員90名、通所リハビリテーション30名の開設2年目を迎える施設です。

趣向工夫をこらした季節ごとのイベント、レク・リハビリの充実。もちろんボランティアの方々の訪問など地域のご協力もあり、広く明るい開放感あふれる館内には優しい時間がいつも流れています。

そのような中で利用者との心と心の通い合った介護を提供できるよう、そして家庭的な雰囲気の中で利用者の自立の支援ができるよう、これからも全職員一丸となり、笑顔いっぱいの活気ある、安心してご利用いただける施設をめざして初心を忘れず努力をしていきたいと思

います。  
今後とも  
よろしく  
お願い致  
します。



## サンビューみしま

当施設は、平成13年5月、三島市の市街地より三島市郊外に新築移転した三島社会保険病院の併設施設として開設されました。

入所定員100名（短期入所療養介護含む）、通所リハビリテーションは定員40名です。居宅介護支援事業所と三島市から委託の地域包括支援センターを併設しています。

場所は箱根西麓高台に位置し、富士山・駿河湾が一望できるなど、環境には大変恵まれています。交通アクセスは、併設病院と共同の無料シャトルバス2台が三島駅と伊豆箱根鉄道の三島田町駅から運行しています。

毎年、納涼祭では三島名物の「しゃぎり」を地元子供会にご披露いただいております。敬老会では地元保育園の園児による慰問活動を実施するなど地域との交流も大切にしています。



## 〔中部地区〕

## あかつきの園

当施設は開設19年目を迎えております。さまざまな疾患がある方、経営栄養の方も増えており入所の方の重度化が進んでいます。長期入所の方も増えていますが、老健の機能であるリハビリに力を入れており、機能の維持向上ができるよう取り組んでいます。作業療法士、理学療法士が利用者の方一人一人の希望に沿った計画を立て個別リハビリを行っています。集団体操や集団レク、塗り絵・習字や作品作りなどの作業も行っており、利用者の方に好きな時に参加していただいています。リハビリの時間だけでなく看・介護職員と連携し生活の中でできることはご自分でやっていただくよう声掛けをしています。ご家族への連絡を密にし、交流を大切にしており、面会・外出・外泊の協力をお願いしています。利用者の方とご家族の良い関係が続けられるよう、ご家族にとっても利用しやすい施設でありたいと思っております。



## ケアセンター瀬名

ケアセンター瀬名は、平成元年に静岡瀬名病院の併設施設として、竜爪山を望み閑静で緑豊かな環境の中でスタートしました。静岡バイパス瀬名I.Cから車で10分の距離に位置し、交通アクセスも便利です。

ケアセンター瀬名では、入所者及び通所リハビリテーションの通所者向けに、様々なクラブ活動を行っています。書道、貼り絵、カラオケといった定番のクラブに加え、押し花、手芸、刺し子、料理、園芸といった作業リハビリにつながるクラブ活動を積極的に行っています。特に園芸活動に力を入れており、ボランティアの方々の協力を得ながら、中庭の花壇や屋上庭園への植栽活動をしています。屋外での作業ができない利用者には、フラワーアレンジメント作りやコケ玉、クリスマスリース作りなどの屋内作業を行っています。

これからも、充実した介護サービスの提供を目指し、併設の静岡瀬名病院、ケアハウスレインボー瀬名をはじめとした関連施設との連携をはかり、地域に根ざした施設運営をしていきます。





## 焼津ケアセンター

焼津市では、一番早く出来た老健で今年で16年目を迎えます。入所150名、通所リハビリテーション60名定員です。

働く職員数も100名を超え、入所介護53名(パート1名含)看護16名(パート2名含)と充実しております。また、うれしい事に看護師は3年以上退職者が出ておりません。辞めていく方が少ない為、充実した職員教育を実施し努力しております。

通所リハビリの職員も16名と充実しております。PT5名、OT2名、ST1名とリハビリにも力を入れております。県内ではめずらしいプールリハビリもあり、通所のご利用者様には大変評判も良いという事です。

今後も現在の状況に甘んじず、利用者様の為の焼津ケアセンターにする為に努力してまいります。いつでも清潔に保たれている焼津ケアセンターに一度足をお運び下さい。



## ケア・センターひまわり

ケア・センターひまわりは、

地域に開かれた明るい雰囲気の中で、住み慣れた自宅へ復帰できるよう支援していきます。ご利用者様からおいしいと評判のお食事、日常生活の中で取り組むリハビリをはじめ、リハビリ専門スタッフによる機能訓練や活動、参加の促進等豊かな生活を送りながら、病院と在宅の中間施設としての役割を果たしています。

### ①施設全体

- ・多床室中心のご利用しやすい価格体系
- ・市街地に位置した便利な立地(静鉄バス・村松原バス停より1分)

### ②おいしいお食事

- ・自前の厨房スタッフでご利用者様一人一人に合ったカロリーや食事形態等を検討し、楽しくおいしいお食事を安全に召し上がっていただけるよう、私たちスタッフが心を込めてお食事を作ります。

### ③充実したリハビリ

- ・リハビリの専門スタッフによる機能訓練、生活リハビリ、精神的リハビリなどを提供し、自立した生活を応援します。

## サンライズ大浜

静岡市の中心部からも、バスで約20分と便利な場所に位置し、また海も近く富士山も綺麗に見えるという、景観にも恵まれた当施設。

「人にやさしい、地域密着型施設」を掲げ、入所・ショート・通所リハ・居宅介護支援等と、母体である松生整形外科と共に、ご利用者様お一人お一人のニーズに応える総合サービス拠点として、地域の皆様に貢献していきたいと思っています。

老健施設としても、食事・入浴・リハビリ・排泄などの基本サービスの更なる向上をはかると共に、お寿司などお楽しみメニュー、たこ焼き等ご利用者と一諸に作る楽しみを味わう試み、ボランティア受入れやドライブ・秋祭り等各種行事も、さらに充実していきます。

お問い合わせや施設見学等のお申し込みなど、お気軽にお電話下さい。



▲春のドライブです！



▲流しソーメンでのーコマです！

## コミュニティケア 高草

焼津市の高草山の麓、緑に囲まれた場所に位置し、四季折々の自然が楽しめる環境が自慢のひとつです。開設から15年目を迎え「ひとりひとりを大切にするケア」はもちろんのこと利用者様に楽しんでいただく年間行事も充実してきました。

行事で張り切る部署の1つが栄養課です。4月のお花見では利用者様が桜の下で美味しく楽しく召し上がれるよう色鮮やかな『お花見弁当』を創ります。12月にはお店にならんでいるような『クリスマスケーキ』など、行事の度に目でも舌でも楽しませてくれます。

食だけに限らず相手のことを考えたケアができるよう頑張っています。





## こみに

当施設ではご利用者に楽しく生活していただく為、イベントを多く実施しております。

その中に「元旦祭」があります。家にいても施設にいても、美味しいものを食べたり、お酒を飲んだりとお正月を迎えたい気持ちは変わらないと思います。1年で1番最初の日を楽しく、温かく迎えてもらいたい気持ちで開催しているものです。

神主さんをお招きし、ご利用者の無病息災を祈願していただき、お守りが配られました。また、1F喫茶店で行った「おせちバイキング」では孫や曾孫連れの多くのご家族が来られ、家庭と同じように1つの食卓を囲み、ご利用者と昼食を召し上がっていました。

これからもご利用者が明るく、楽しく生活できる施設であるように努めていきたいと思っております



## 楽寿

当施設は、「高齢者への尊厳」という法人の理念に基づき、ご利用者お一人ひとりの思いを大切に、ケアを提供するよう心がけており、病状安定期にある方、認知症で家庭での介護が難しい方等を対象に、健康管理、リハビリテーション、レクリエーション、食事、入浴等の看護介護サービスなど、家庭での生活を可能にする為の各種サービスを提供しております。

レクリエーションは、季節ごとの行事の他、カラオケ大会やお料理を楽しむ会など、各フロアごとに行っております。

併設の通所リハビリテーションでは、施設が送迎を行い、居宅で介護を必要とする方に出来るだけ能力に応じ、自立した日常生活が営めるように、ご利用者一人ひとりの状態や目標に合わせたサービスを行っております。



## カリタス・メンテ

当施設は、平成9年5月に開設し、入所者50名、通所者20名と規模は小さな施設ではありますが、肺炎の繰り返し・難治性心不全などの介護困難な要介護者の方々への緩和的ケアの充実を図り、住み慣れた地域で、ご利用者様とご家族様とのふれあいを第一に考え、穏やかで安心できる生活をしていただけるよう日々努めております。

また、通所リハビリテーションにおいては、「利用者様の在宅療養の自立に向けた支援」という初心に戻り、「利用者様らしさ、くつろぎ、共にあること、携わること、結びつき」というパーソン・センタード・ケアをサービスの原点として、取り組んでいます。

利用者様一人一人が、当施設を信頼しより一層、心の通い合える、温かみのあるケアへとつながっていけるよう、努力を重ねていきたいと思っております。



## ケアセンターゆうゆう

当施設は、平成9年に開設し今年で13年目を迎えます。「自らが利用したいという施設に看介護をとおり創りあげること」を理念とし、入浴、食事、排泄及び日常生活サービスを提供するとともに、季節の行事、娯楽、レクリエーション等を通し、利用者様一人ひとりに適した質の高いケアの実現を図り、安心と満足が得られるサービスを目指します。

通所リハビリテーションでは、介護予防を主眼とし、専門療法士によるパワーリハビリや個別リハビリの提供、歯科衛生士による口腔機能向上、管理栄養士による栄養改善等に積極的に取り組んでいます。





## エコトープ

当施設は、SLで有名な金谷駅から三番目の日切駅を下車、徒歩約10分の所にあります。施設内は、利用者がゆったりと快適に過ごせるよう工夫しており、中でもリハ訓練を行う延長100mの回廊、ゆとりのある浴室での「緑茶のかけ湯」、心とませるピオトープ仕立ての中庭などは好評を得ております。

現在入所定員150人、通所リハビリ定員40人で、居宅介護支援事業所も併設しております。入所者の平均年齢は85歳で4人に1人が90歳以上と比較的高齢者が多いため、職員一同、お年寄りを温かく、また、やさしく包み込むような介護に日々努力しております。施設の前にある霊験あらたかといわれる「日切地藏尊」にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



## グリーンヒルズ藤枝

藤枝市の北部郊外で瀬戸川の清流と緑豊かな自然に恵まれた当施設は、聖陵リハビリテーション病院を母体とし、施設入所（短期入所療養介護を含む）100床、通所リハビリテーション75名の定員にて運営、医学的管理の下、職員26名のうち訓練士7名によるリハビリテーション、看護、介護その他必要な医療や日常生活上の支援をしながら居宅生活への復帰を目指しています。このほかに訪問介護（正職員3名、登録10名）、訪問リハビリ（正職員6名）、居宅介護支援（2事業所、ケアマネ8名）、地域包括支援センター（正職員3名）を運営しています。通所事業所、西益津通所介護（利用定員50名）、平成21年6月にかろやかリハ通所介護（利用定員45名）を開設いたしました。利用者が「にこやか」「個性豊かに」過ごせることができるよう常に創意工夫しサービス提供に努めています。利用者の笑顔がいつでも見られ活気のある日々が送れるよう職員一同頑張っていますので、施設見学等皆様方のお越しを心よりお待ちしております。



## アリス草薙

当施設の玄関ロビーにある公衆電話の上には、1枚の絵が飾られています。緑が生い茂った1本の木と、卵が産み落とされた鳥の巣が描かれたこの絵は、「上野の森美術館大賞展」大賞や「神奈川県美術展」特選など、数々の栄誉に輝く末永敏明画伯が、開設記念に当施設に贈呈して下さった絵です。

末永画伯は、この絵に文を添えてくださり、その文はこんな一節で締めくくられています。「自然界では、生きて存在するためになくはならない密接な関係となるものがあるが、樹木と鳥の巣を見て、人は共存の大切さを知ることになるだろう。」



この「共存」の思いこそ、当施設が開設以来、そしてこれからも受け継いでいく大切な思いです。

ご利用者やご家族、地域の人と、さらには同じ職場で働く他の職員と、ともに支え合って生きているということをかみしめ、日々の業務に励んでいます。

当施設にお寄りの際は、絵をご覧ください。

## アポロン

当施設は島田市の中心部にあり、入所者80名、通所者37名。併設事業所として、居宅介護支援事業所、訪問看護（リハビリ）・訪問介護、委託事業として、包括支援センターがあり、老健の役割を果たすべく、チームケアを重視しています。又、理念として「やすらぎとぬくもりの伝わる心からの介護」を確認しながら、明るく活気ある職場作りに努力しています。

人間らしくとは、朝起きて普段着に替え、食事は食堂で摂り、排泄はトイレで済ませ、夜は充分の睡眠をとり、日中は起きて活動。この当り前の事を集団生活の中で、笑顔で支援する事の難かしさと、大切さを学んでいます。8時30分、入所者と施設日勤職員全員が号令をかけながらラジオ体操を行ないます。片手で体操、声だけの体操、ニコ～顔だけの体操、様々ですが、一日が始まります。





## はるかぜ

介護保険の誕生とともに、「はるかぜ」も10周年を迎えます。介護老人施設として、これからも信頼されるよう頑張ります。

この施設がおかれています牧之原市においては大変厳しい医療環境に立たされています。榛原総合病院の問題が医療及び介護に大きな影を投げかけています。市内唯一の老健としてますますその存在意義が問われてきます。

去年は、厳しい労働環境に置かれている介護施設にも微かな陽の光が差し込みはじめましたが、まだまだ厳しさは変わりません。この厳しさをバネにし、真の老健として、また、地域一番の介護サービスの提供施設として、地域貢献できるよう努力をしていきます。

医療、介護、リハビリ、食事等、いろいろなスタッフが連携をし、利用者さんが「おだやかに、ぬくもりのある」(はるかぜの経営理念)生活を送れるための手助けができ、スタッフが明るく生き生きと働き、と同時に、介護サービスの質の向上を目指します。この10年間に築きあげてきた礎に、より堅固なものを積みあげ、長く地域に貢献してまいります。



## 萩の里

当施設は、平成12年4月に開設し、本年で11年目を迎えることができました。サービスは施設入所(100床)・通所リハビリテーション(85名)をはじめ、短期入所療養介護(ショートステイ)・訪問看護・訪問介護・居宅介護支援事業所の運営を行っております。また、同法人で療養型病院・障害福祉サービス事業所も隣接しております。地域に根ざした医療・介護・福祉の3本柱で総合的なサービス提供体制を築き上げていくことを目指しております。

身体的なリハビリテーションはもとより、カラオケ・園芸療法も喜ばれております。利用者の方々に充実した時間を過ごして頂き、満足感を持って頂けるような施設作りに努力していきます。



## 葵の里

「葵の里」の裏に広がる蜜柑山には、2月というのにまだ収穫されていない蜜柑がたわわに実をつけています。

葵の里も開設してから10年目となり、スタッフの質や技術もレベルアップしましたが、そんな中において昨年からの冬にかけて起きた新型インフルエンザ騒ぎには驚き、戸惑いました。

結局、例年通り手洗いの励行と面会に来られるご家族にマスク着用をして頂いて入所者には1人もインフルエンザ患者は出ませんでした。まだ油断はできませんがそろそろ春の行事に頭を切り替えねばならないでしょう。まず一番は近くの城山中学校の梅園での花見。その後、ひな祭り、入所者と家族との合同食事会など地域と家庭とのつながりを大切にしながら年末まで目白押しです。



## きよみの里

薩埵峠の麓の高台に位置し、南には伊豆半島、駿河湾を一望できるとも景色が良くゆったりと広々とした部屋が自慢の施設となっております。

“個々の利用者様を大切にしたケアサービスを提供し、地域の人々が安心して暮らせる老後のお手伝い”が施設の理念であり、利用者様個々に合わせたリハビリの実施や、看介護による毎日のケアを実施しております。また、毎月行われる趣向を凝らした誕生会や、夏祭り、クリスマスコンサートなどの行事も行っております。

今後とも、家庭的な雰囲気の中で、利用者様に喜ばれ満足していただける施設を目指していきます。





## あ み

当施設「あみ」は、開設以来各介護サービス事業が、ご利用者様及びご家族様から信頼され充実したサービスを提供することを目指しております。最近の介護サービス希望の方の動向は、リハビリを望まれる方が多くいらっしゃいますので、その要望に少しでもお応えするため、去る10月より新たに短時間(3時間10分)のリハビリ主体の事業「まつとみデイリハビリセンター」を開設致しました。

最新の各種リハビリ機器を設置し、経験豊富な理学療法士、看護師等の専門スタッフが、例えば脳梗塞後の麻痺や関節拘縮の改善・脳トレ等がなされ、元気になられたり、痛みが和らいだり、歩行が楽になるなど、リハビリの効果が除々に始めている方もいらっしゃいます(午前・午後の2部制で3時間10分ずつ)。

また、同時に「まつとみクリニック」で「訪問リハビリテーション」も開始し、自宅に伺ってリハビリを行います。今後とも地域の皆さんをはじめ、ご利用者様そしてご家族の皆さんに安心してご利用頂くため、より良いサービスが提供できるよう一層研鑽を積んでまいります。



## 芙蓉の丘

当施設「芙蓉の丘」は、平成13年6月に開設し、10年目という節目の年を迎えます。

駿河湾を見下ろす丘の上に建ち、天気の良い日には、富士山を眺めることができます。

日当たりが良く、明るい雰囲気の中庭を囲み、1年を通して花や緑を感じることができる2階、また1階には、リハビリ機器がそろい、利用者様も積極的にリハビリに取り組まれています。

芙蓉の丘は、利用者様一人一人が、その人らしく生活ができる様、職員一同でサポートしています。



## さ く ら

当施設ではPT4名・OT3名の計7名を配置しています。入所・通所での短期集中リハ、認知症短期集中リハ、ショート利用者様においてもケアマネと連携し個別リハを積極的に実施しています。今回は通所事業におけるリハビリを紹介します。通所事業ではPT・OTによる個別訓練



以外に、身近にいる看護・介護職員による生活リハビリも行っています。その中でもリハビリの一環としてレクには力を入れており、午前は脳を鍛える内容を行います。午後は身体機能を十分に生かせるようなスポーツを主に行っています。試合形式にする事で普段は温厚な利用者様も必死になって取り組み、利用者様・職員の歓声が施設内に響き渡り毎日が運動会の様です。そしてレク用品に関しては全て、通所職員による手作りであり、大きさ・長さ・持ち手等利用者様が扱い易いよう工夫しています。



今後も「楽しく体を鍛える」をモットーとし、リハビリ科職員と連携しながら、利用者様の心身の健康をサポートしていきたいと思ひます。

▲磁気射的・魚釣したいと思ひます。

## コミュニティーケア吉田

展望フロアから絶景の富士が一望できる当施設は、平成14年の開設以来、「地域に開かれた施設」をスローガンに、明るく活気ある施設を目指して職員一同が一丸となって取り組んでおります。

当施設では、利用者様が心身共に健康で楽しく生き生きと過ごしていただけるよう、リハビリテーションはもとより、レクリエーション活動にも力を入れております。リハビリテーションのパワーリハビリ機材は大変好評で「リハビリの達成感がある」「筋力がついて前より疲れなくなった」等の喜びの声を頂いております。音楽療法では、音楽療法士の指導のもと、唱歌や演歌を大きな声でうたったり、楽器を用いて合奏をしています。毎回楽しみにしている方が多く、中には感動して涙を流される方や、「懐かしいねえ」と目を細める方も少なくありません。料理教室では、役割分担をし、毎回美味しい料理を作っています。特にホットプレートを用いたお好み焼きは毎回好評で、進んで腕をふるって下さる方が沢山いらっしゃいます。楽しく調理した料理の味は格別のように、笑顔があふれています。

私たちはこれからも利用者様お一人お一人と向き合い、よりよいケアを目指してサービスの質の向上と充実 に努めたいと思ひます。



## フォレスト藤枝

当施設では「信頼・安心できる思いやりのある医療・福祉環境づくり」を理念に掲げ、手厚く細やかな介護、充実したリハビリテーションを目標としています。リハビリについては、利用者様の心身機能の維持回復はもちろんのこと、一人一人に適したプログラムを組むなど個別重視の訓練を提供しています。

その他、季節に合った様々な行事を行っています、8月には駿府夏祭りを開催し、地域ボランティアの皆様のご協力のもと、大道芸、和太鼓、学生吹奏楽などの催し、夜店を多数並べて盛大に行っています。皆様是非お越し下さい。



## マ イ ン ド

平成15年11月に開設しました。入所者150名(一般棟102名、認知症専門棟48名)通所リハビリ40名の施設です。7年目を迎え、利用者さんがより楽しく生活できる施設を目指しております。

通所リハビリでは、利用者さん同士が交流を持ち、ほっと一息つける場の提供はできないかと考え、昨年末より昼食後の喫茶を始めました。ここに来て初めてコーヒーの味を知ったと言い美味しそうに飲んでいる方や、コーヒーの味を楽しむというより井戸端会議を楽しんでおられる方、さまざまですが、みなさんに好評をいただいております。リハビリ生活訓練を行う施設であると同時にここに来ることが楽しいと思える施設になるよう職員一同頑張っています。



▲デイケア職員一同

## ケアセンター池田の街

「ケアセンター池田の街」は静岡市3区の中央に位置する東静岡地区に平成17年4月にオープンした入所定員110名・通所リハビリテーション定員40名の施設です。交通至便な街中にありながらも、四季を通じ様々な花が咲く屋上庭園や各療養室の窓からは富士山や日本平も眺望でき、喧騒を忘れ穏やかに癒される“都市型”老健施設です。

ご利用者様には、笑顔のたえない明るい雰囲気の中で、活力と安心を感じられる日々を過ごして頂くため、生活状況に沿ったリハビリを重視し、季節の行事や各種のイベントなど楽しみながら心身機能の維持向上を図って頂ける様配慮しております。今後も「やさしさで支えたい、守りたい」の理念のもと、常にご利用者様の視点に立った温もりあるケアの提供を目指し、一層の努力を重ねて行きたいと考えております。



## か り ん

介護老人保健施設かりんは、静岡市駿河区宇津ノ谷峠の山々に囲まれた緑豊かな環境の中にあり、入所100床、通所リハビリテーション40名のサービスを提供しております。

施設では、毎年たくさんの行事やレクリエーションを職員の手作りで行っています。特に、12月に行ったクリスマス会では、ご利用者様に喜んでいただくために、職員一同、工夫をこらし、コーラス・大道芸・ダンス・太鼓演奏などを行いました。なかでも、職員による“かりん太鼓”は、ご利用者様の間近で連打し、迫力満点！ご利用者様は涙を流して喜ばれ、アンコールとなりました。また、ご利用者様もカラオケで熱唱するなど、あっという間に楽しい時間が過ぎていきました。

このように、これからもご利用者様に喜ばれ、満足していただける施設となるよう、職員一同、努力してまいります。





## ユニケア岡部

7年目を迎えた当施設は、元々24時間の往診・訪問看護を軸に地域医療へ力を入れてきた診療所が、それだけでは在宅生活を支えることに限界を感じる中で、施設開設に至った経緯があります。住み慣れた地域で最期まで関わることは、私達職員全員の大きな役割になっています。

リハビリ職員も機能訓練だけにこだわらず、全室個室・ユニットケアの生活環境を活かしながら介入のタイミングを考え、繰り返し何度も関わることで利用者が生活で困っていることの解決ができる様に心掛けています。また、リハビリ室は入所・通所を問わず、利用者様同士の交流の場にもなっています。地域密着の特性を活かし、利用者様の歴史を大切にしながら関わる事で少しでも居心地の良い場面を多く作り、利用者様が元気で過ごせる様にサポートしていきたいと思っています。



## 鶴舞乃城

～その人らしい生活にお応えします～

鶴舞乃城は、清水インターから北へ車で約5分程の場所にある小高い山の中腹に平成19年4月1日に開設しました。

現在は、入所100名(短期入所療養介護を含む)通所リハビリテーション50名、居宅介護支援事業所を運営しております。

その方らしい「生活習慣」や「こだわり」を大切に、お一人おひとりの状態や目標に合わせたケアを行います。年齢を重ねれば誰にでも起こりうる心や身体の機能障害を個性ととらえ、ご本人様はもちろんご家族の皆様にも安心していただける介護を目指しています。



## 〔西部地区〕

## 西山ウエルケア

西山ウエルケアは開設より22年を迎えようとしています。開設当初より緑豊かな環境の中で、利用者の皆様が安心して楽しく過ごして頂けるよう職員が一丸となって創意工夫しています。

当施設は、レクリエーションの専門スタッフが配置されています。季節に合わせた施設全体のイベント以外にクラブ活動にも力を入れています。刺子、ステンシル、粘土造形などのクラブを設定して、自主的に参加できるようスケジュールを立てています。正面玄関を入ると、利用者様がクラブ活動で作成した作品を展示しています。季節に合わせて利用者皆様と一緒に作成しています。細かな所まで手が行き届いた作品が魅力です。

これからも入所者の皆様一人一人を大切に思い、気持ちのわかる親切を心がけていきます。



## エスコートタウン静清

開設3年目を迎えたエスコートタウン静清は、在宅への架け橋として、アールアンドオーリハビリ病院グループと共通した考えで、在宅復帰というゴールを目指しています。リハビリスティを初め、個別リハビリ、生活リハビリ、アクティビティの提供に取り組んでいます。

また季節の移り変わりに合わせた行事や環境作りを大切にして心のリハビリにも努めています。併設の静岡リウマチ整形外科リハビリ病院と当施設の3階をむすぶ空中ガーデンは、季節の花々が迎えてくれる憩いの空間として、ご利用者様やご家族様に提供されています。また季節毎の園芸



活動や夏の納涼祭、暮れの餅つき大会など、季節の行事に集う場所としても大変喜ばれています。



## みっかび東介護老人保健施設

浜名湖を望み、山々に囲まれた温暖な気候に恵まれた三ケ日の自然の環境の中、安心して暮らせる療養環境を、私たち職員一同、真心込めてご提供させていただきます。

当施設のマottoは利用者様に快適で気持ち良く暮らすことのできる環境の提供であり、その為に「明るく・清潔に」を合言葉とし、日々サービスの提供をさせて頂いています。また、在宅生活をサポートする通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所、診療所も併設し、地域福祉ニーズに幅広く対応できる施設であるよう、常に努力しています。

今後も福祉の拠点になるよう頑張っていきます。



## 三方原ベテルホーム

法人理念の「隣人愛」に則って、地域社会の中の一施設として保健・医療・福祉の総合性を大切にするとともに、その中で個性ある役割を担っていくことが当施設の理念です。

利用者の「生きよう」という意欲を育みそれぞれの持てる能力を活かした自立を目指しています。併設病院との連携により緊急時の医療的支援や専門性の高いリハビリテーションの実施など利用者一人ひとりに応じた質の高い医療・介護サービスの提供が可能です。特に維持期のリハビリに力を入れ、生活に即したリハビリを推進することで、長時間の機能維持・改善を目指して地域における在宅生活を支援していきます。



## なかよし

当施設は、JR豊田町駅より北へ車で5分のところにあります。併設している豊田えいせい病院と連携しており、病状、病態の変化などにも、適切で迅速な対応が可能となっております。また、リハビリを中心に在宅復帰を目指しています。

当施設では、毎月行っている様々な行事を通して、利用者様が元気に楽しく生活していただける様努めております。特に毎年行っている夏祭りでは、たくさんの笑顔が見られます。

また平成21年12月に浴室を増築しましたので、きれいで広いお風呂をご利用頂いております。

今後も職員一同、サービスの質の向上を目指し、利用者様、ご家族の方に安心して頂けるよう努力を重ねていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 都ケアセンター

都ケアセンターは浜松市北区都田町の緑豊かな自然を背景にしています。定員は入所が151名、通所リハビリが40名です。併設施設として政本病院(療養病床)があり、互いに連携して「そのひとに最も適した介護」の実現を目指しております。

当施設は理学療法士、作業療法士のスタッフのもと、パワーリハビリ機器も導入し、より充実したリハビリテーションを提供できるように努力しております。

開設18年目を迎え、今後も職員一同、利用者様本位の介護サービスを心掛け、実践していきたいと思っております。





## ハイマート有玉

こんにちは「ハイマート有玉看介護課」です。ハイマートとはドイツ語で“ふるさと”です。誰もが、ふるさとに帰れば懐かしく安らぎを感じ心穏やかになる所と思います。私達は、この“ふるさと”にいる気持ちでご利用者様が生活していただける為のサービスの提供を心がけています。3大介護として食事、入浴、排泄は欠かせません。更に余暇の過ごし方も重要であり（リハビリを兼ねて）午前午後の2回遊びリテーションを導入しています。限られた人数、限られた時間ではあるが季節ごと・月単位・毎日などにより内容を変化させています。看護・介護のみならず、リハビリ課をはじめ他部門との連携も密にして情報交換も積極的にしています。リスクを少なく安全で危険がなく快適にお過ごしいただける環境づくり職員一同更に努力をしてゆきます。



## エーデルワイス

当施設は、平成19年4月より政令指定都市となった浜松市の北部にあります。国道152号線沿いで、近くに大型ショッピングセンターが2つもあり、浜松市中心街より車で約30分たらずの交通至便な場所にありながら緑に囲まれた田園の中に位置します。

施設の規模は、入所145床、短期入所5床、通所リハビリ定員1日60名で運営しております。また指定居宅介護支援事業所として担当ケアマネージャーが在宅サービスを希望されている方々の相談にのり、関係機関と密に連携をとりながらケアプランを作成し、サービス調整等を行っております。

建物の前方には広々とした回廊式の車椅子通路に囲まれた庭園、ふれあい動物園、ミニ果樹園があり、入所者及び通所者のレクリエーション活動や憩いの場として利用されております。

また、当施設より徒歩1～2分のところには協力病院があり、当利用者様の力強い支援をしております。



## 入野ケアセンター

当施設は佐鳴湖の南側に面した雄踏バイパス沿いに位置し浜松市中心街から車で約10分ほどの交通利便性のよい街場の介護老人保健施設です。

「施設入所」をはじめ「短期入所」、「通所リハ」、「訪問介護・看護」、「居宅介護支援事業所」を併設しており、リハビリを中心に利用者様のニーズに応じてサービスを提供しております。

併せて湖東病院、和恵会記念病院とグループ内に介護療養型医療施設も併設しており、利用者様一人一人に応じた質の高い医療・介護サービスの提供が可能になっております。

また年間を通じて、大正琴などの演奏会やマジック、動物介在活動など様々な地域のボランティアの方が来所され、職員、地域住民が一丸となってご利用者様の明るく充実した生活のお手伝いができるよう日々業務に取り組んでおります。



今後もご利用者様、ご家族様、そして地域の住民の方々からも喜ばれる施設づくりを目指していきたいと思っています。

## 白梅ケアホーム

当施設は、自然豊かな高台に位置し、晴天の日に見える浜名湖や富士山を望む景色は、心癒されます。

春には桜の花が咲き、初夏には梅の木がたくさんの実をつけます。その実を収穫し、梅ジュースを作り夏祭りで試飲することが、毎年恒例のイベントとなっております。また、施設横に併設されたりハビリ公園には畑があり、野菜作りを楽しむことができます。このように自然に恵まれた環境の中で、日々のリハビリはもちろん、五感に触れられるよう季節の行事にも力を注いでいます。

今後も、利用者様、御家族様の視点に立ち、お一人おひとりに合わせた医療・看護・介護サービスを提供させて頂き、心暖まる施設作りを目指していけたらと願っております。





## エバーグリーン掛川

当施設にはサービスの向上をはかるため、接遇委員会があります。その中で年2回ご家族様にアンケート調査を実施し、利用者様ご本人とはまた違ったご意見やご感想をいただくことがあり、参考にさせて頂いております。特に食事に関してはご関心が高いようですので、今回は栄養部主催の行事食などを紹介させていただきます。行事食としては“お茶娘新茶試飲会”“にぎり寿司”等実演調理で視覚に訴えるものや参加型の食事に人気があります。また通所リハビリでは、“お楽しみ給食”“手作りおやつ”などと称してんぷらを揚げながら召し上がっていただいたり、バレンタインには手作りのチョコレートに挑戦したりします。季節や時期に合った食材をどういう形で利用者様に提供していったら良いか悩む事もありますが、皆様の温かいお言葉と笑顔で毎日励まされています。

今後も皆様や他職種の職員に協力してもらい、“楽しくておいしい食”の責任者として、いっそうのサービス向上と地域に貢献できるよう、努力していききたいと思います。



## 於保老健センター

於保老健センターは、平成8年4月に入所80人、通所20人で開設し、今春15年目を迎えます。磐田市の南部、ほぼ国道150号線に面するように位置しています。精神科神経科の病院に併設され、認知症の方の利用が多い施設ですが、皆様が楽しく安心して過ごせるよう努めています。

先日、アマチュアロックバンド「ザ・ファイバーズ」の皆様が慰問に来てくれました。ロックとお年寄り、なんとも想像しにくいかもしれませんが、「曲は分からんがよかったよ〜」という声が聞かれたり、なかなかの好評ぶりでした。ひととき施設はライブハウス状態、80才を超えベンチャーズを知っている方も一握りながらいたのは驚きでした。



利用者の皆様が楽しんでる姿、それは職員にとって何よりのカンフル剤です。

## さいわい

さいわいは、浜松市の北部に位置する天竜区にあり、開設13年目を迎えます。

当施設では、サービスの向上を目指す目的で8つの委員会活動があります。特に「介護技術検討委員会」では、リハスタッフを含め6名の委員が中心になり、毎月内部勉強会を開催しています。ご利用者にとっての快適さや安全性を追求し、ソフト面ハード面の工夫を心がけています。この「FUNレストテーブル」の導入もその一貫であり、排泄時の安定した姿勢を保つことで一層リラックスした環境を作ることができます。テーブルに体をあずけることで、緊張感や恐怖心を取り除き、適切な重圧と共に排泄感が促進されます。そして何よりもうれしいのが、ご利用者の苦痛が軽減され、笑顔がみられたことです。すべての方に有効とまではいきませんが、器械を通して様々な認識を深めることができました。「職員の質をあげることが、ご利用者の豊かな生活につなげる」ことを目指し、さらに創意工夫を行いながら、地域の皆様に愛される施設となるよう努めてまいります。



## すすかけの街

当施設は、浜松市中心市街地に、平成9年2月にオープンしました。

療養病床(110床)併設の、入所定員100名、通所リハ定員30名の都市型複合老人施設です。

通所リハでは、閉塞感のある環境を少しでも開放感が得られるようにならないかと壁画作りを始めて早8年になります。

壁画そのものの完成度もさる事ながら回数を重ねていく度に、利用者同士の輪が生まれ、残存機能の違いをプラスに変え、笑顔で助け合いながら作業を進めていくその姿に、社会交流のごく普通の姿を垣間見る事が出来ます。

これからも、壁画作りにみられる生活リハビリとして、短期間で終わらない「継続出来るケア」を考え利用者が目的を持って満足して通える、通所リハを目指していきたいと思っています。





## さくらの苑

当施設は、JR磐田駅の南側、野鳥が多く生息する大池にも程近い自然環境に恵まれた場所にあります。

平成10年5月に開設し、現在定員は、入所100名(短期入所含む)、通所リハビリ39名、居宅介護支援事業所を運営しております。

新年会、お花見遠足、クリスマス会等季節感を大切にした各種行事やおやつ作り教室は、利用者様に好評をいただいております。

リハビリは、PT5名により身体機能への関わりの他、脳トレや園芸活動も取り入れた個別リハビリや、日常生活場面では一人一人に合ったケアが行えるよう他職種との連携を図り、充実に努めています。

今後も職員一同より一層のサービス向上に努めてまいります。



## おおふじ五幸ホーム

当施設は、平成10年4月に開設し今年12年目を迎えました。看護・介護・リハビリの充実に職員一丸となって取り組む毎日です。又様々な工夫を凝らした日々のレクリエーションを提供させて頂くのは勿論、ボランティアの方や地域の方の御協力も頂き、昨年も夏祭り、敬老会、ギター演奏会、屋台とお離しの来所、その他様々な行事を行ないました。

1月にも恒例の新年会を催したばかりで、ボランティアの方が「七福神」に扮し踊りを披露して下さい、大盛況の会となりました。利用者様と施設に「福」を運んで頂き1年をスタートさせることができた次第です。今後も明るく笑顔の絶えない施設であり続ける様努力して参ります。



## 袋井ケアセンター



当施設は、袋井市の遠州森町に近い菅間の山の中腹に位置しています。今年で開設11年になります。定員は入所が100名、通所が40名です。

リハビリを担う理学療法士は6名(非常勤含む)で利用者様一人一人に合った個別リハビリ(身体機能改善、ADL改善、歩行能力向上等)を行い明るく楽しい雰囲気

で皆様の笑顔と健康増進に力を注いでおります。

また、1年を通じて夏まつり、節分等季節感を満喫できる行事を行い、全職員一丸となって利用者様のQOLの向上に努めております。



## 神子の園

掛川駅の北東約3kmに位置する当施設は、平成11年4月に開設し、今年で12年目を迎えます。定員は入所100名(うち認知症専門棟50名)通所60名です。また近くに地域密着型事業としてグループホームと認知症デイサービスセンターを併設しています。

当施設では、季節感を大切に各種行事、レクリエーション、クラブ活動、食事等に力を入れています。また、毎日の散歩を取り入れており、利用者の表情も明るく豊かになっています。リハビリテーションにおいてもパワーリハビリを導入し、機能回復や維持に努めています。今後も全職員一丸となって、明るく活気があり安心して利用して頂ける施設を目指し努力していきたいと思





## は ま お か

老人保健施設「はまおか」は、遠く富士山を望める小高い丘の上に建ち、南に遠州灘を一望する大変恵まれた療養環境のなか、利用者様に目標を持って楽しく生活していただき自立した日常生活を営むことが出来ますよう常勤理学療法士4名、作業療法士1名にて必要なリハビリテーションを行い、尊厳に満ちた生きがい作りや居場所探しの支援をさせていただいております。

当施設は、市立御前崎総合病院に併設された全国的にも珍しい療養型施設、老健施設、通所リハビリ、訪問看護などを行なっている介護と医療の複合公的施設です。

スタッフ一同「安心と安全、思いやりのある介護」をモットーに質の高い介護を目指しております。



## まんさくの里

静岡県、愛知県との県境に位置し、浜名湖・太平洋・湖西連邦と、自然に囲まれた湖西市に当施設はあります。平成22年4月には、開設10年目を迎えます。定員は、短期を含む入所100名、通所30名です。

当施設の理念は、「利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の方々・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します」です。

この理念の下、当施設では、日々のリハビリ・看護・介護と共に誕生日会や、四季の行事を通じて、利用者様に楽しく、元気に生活・通所をして頂けるよう、職員一丸となり、今後も努めて参ります。



利用者による八木節の歌と演奏

## 白脇ケアセンター

当施設は、浜松市南部の馬込川を望む場所に位置し、平成14年4月に開設した入所定員100名、通所定員60名の施設です。また居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを併設しています。

食事は、日々の生活の中での楽しみの1つとして考え、季節にあった旬の食材を使用したり、行事食を提供したり当施設を利用されている利用者様に、おいしく召し上がっていただけるように、努力を重ねていきたいと思っております。

また当施設では、真空調理を行っており煮物などは味が良くしみこみ、お肉、お魚料理も固くならず柔らかくできます。

今後も「親切」「丁寧」「平等」の理念のもと、利用者様の個々にあった食事の提供を職員一同、心を込め行っていきたいと思っております。



敬老会の食事

## 花平ケアセンター

当施設は、浜松市の北部に位置しており、自然豊かな引佐町を中心に地域密着を掲げ、今年で9回目の春を迎えることになりました。

私たちは『利用者様お一人お一人の満足度を高める』をモットーに、利用者様の声を反映したイベント企画に力を入れております。

今年も「初詣ツアー」「長寿祈願祭」を行いました。また、ご家族にも参加して頂き、夜、一緒にビールを飲み、おでん等を食べ、楽しんでもらう「居酒屋」も定期的に行っています。

これからも、利用者様、ご家族・地域の方々の声に耳を傾け、みなさまから慕われる施設に、そして私たち自身が胸を張って「花平ケアセンターを愛しています」と言えるような施設になるよう努めて参ります。





## ケアセンター芳川

当施設は、浜松市南東部の田んぼが広がる静かな場所にあります。入所定員は100名、通所リハビリテーションは60名が定員となっています。

入所療養介護部では、8～12名のユニット方式（少人数単位）で食事や団らん、レクリエーションを行っています。各ユニットの食堂で入所者様と職員でおやつを作ったり、日当たりのよい中庭に面した廊下を利用して、毎日リハビリ体操を行ったりと、ご家庭に復帰される為の機能維持・回復に努めています。

通所リハビリに通われる利用者様は、地域柄農業をされていた方が多く、園芸活動となると職人そのものです。季節に合わせて、大根や枝豆など、利用者様に教わりながら一緒に育てた野菜は、沢山の収穫がありました。また、それらの野菜を使った料理が昼食にできると、とても喜んで召し上がって下さいました。

人生の先輩である皆様に、心豊かな時間をすごしていただくために、これからもきめ細かなサービスを提供してまいります。



## みかたはら介護老人保健施設

みかたはら介護老人保健施設は、平成15年4月に開設し、7年目を迎えました。

暖かな日光が降り注ぐ明るい療養環境の中、医師を中心として、理学療法士、看護師、介護職員、厨房職員等、スタッフ全員の協力により、利用者様の立場に立った真心のあるサービスを提供致しています。中でも日々のレクリエーションは好評で、スタッフは、利用者様により楽しんで頂けるよう日々工夫を凝らしています。利用者様もスタッフも笑顔の絶えない和やかな雰囲気施設の、これからも利用者様に更なる満足と質の高いサービスの提供をこれからも目指していきます。



## あおばケアガーデン

当施設は、今年で開設七周年を迎えます。南に太平洋、北に小笠山と豊かな自然に囲まれ、四季の変化を楽しむことができます。

昨年よりスタートした「あおば農園」ではご利用者と職員が協力して、土壌作りから種まき、そして収穫までの一連の作業を行っています。ナス、ピーマン、トマト、芽キャベツ、水菜など一年を通して栽培に取り組んでいます。慣れ親しんだ土の感触を思い出していただき、収穫の喜びを実感していただいています。

行事やレクリエーションは、いつも活発に行われ、ご利用者が参加できるものを計画し実行しています。笑い声が施設中に響き渡ります。施設のモットーである“優しいこころ、優しいことば”を合言葉に、よりよい施設づくりに努めていきます。



## 天王介護老人保健施設

天王介護老人保健施設は、天王病院（認知症専門病院）開設当初から「心と心のふれあい」、「親切と信頼の医療」を礎に今日まで信頼と実績を生かして平成15年8月に開設しました。



入所定員100床（全床認知症専門棟、全個室）、通所リハビリテーション定員40名で運営しております。

各居室には障子の窓を配置するなど和の雰囲気を漂わせ、全個室化により入居された皆さん個人の主体性を尊重する事ができ、規則正しいリズムある生活を送ることによって、本来のご自分を取り戻す、そんなハード面での環境の提供もしています。



季節に合わせた行事「お花見」や「クリスマス会」、「ちんどん行列」を行っており、1月には毎年恒例となりました「餅つき大会」も行いました。



## さわだの庄

当施設は、ご家族や地域の皆様からの多大なご支援、ご協力を賜りまして、開設6年目を迎えることができました。

私達は、『ご利用者様＝ゲスト(大切なお客様)』の考えのもと、明るく快適な環境づくりを心掛け、お帰りの際は「笑顔で帰宅」されるようにスタッフ全員が『誇りと使命感』をもって日々努めています。

通所リハビリテーションでは、昨年末、お蔭様をもちまして増床工事が完了いたしました。以前に比べ、延べ面積は約2倍となり、新たなパワーリハビリ機器の導入や、入浴やお食事後に休んで頂ける畳スペースなど、より楽しく、充実した時間を提供出来るようになりました。



広くなったリハビリスペース



新設した正面玄関

また、裏庭に畑を作り、春からは「ゲスト」の皆様と一緒に野菜作りなどを楽しんでいく予定です。

今後も基本理念の遵守と、施設の開放、地域との融合を意識した施設づくりを目指し、一層の努力を重ねていきたいと思ひます。

## 風の杜

私たち風の杜のある森町は、別名「三木の里」と呼ばれるように三方の緑豊かな山々に囲まれ、また町の中心を清流「太田川」が流れ、美しい自然に恵まれ発展してきた町です。町内には神社仏閣が多く点在し、中には多くの観光客が訪れる有名な場所があります。ききょうやあじさいなど花の名前が付けられたお寺があるのも面白く、様々な場所で四季折々の花を満喫できるのも特長です。

遠州森町と言えばお茶処として有名ですが、他にもスイートコーン、治郎柿、レタスなど特産品が多く、一年中おいしいものに事欠かない、住み心地の良い楽しい町です。

風の杜は、森町の様々な方々からのバックアップを受け、今年で6年目を迎えます。地域福祉サービスの発展にと、4月にグループホーム「たんより」をオープンし、更に地元志向を高めていきます。今後も風の杜ご利用者とそのご家族のために一所懸命に努力してまいります。



## ナーシングホーム オンフルール

4年目の新春を祝う

オープンして4年目の春を迎えたオンフルールは、素晴らしい環境のもと、順調な歩みをつづけております。

人生に安らぎと潤いを——高齢者の皆さま方に医療と看護、介護、リハビリテーションや相談業務などの総合的なサービスを提供し、数多くのご利用者さまの共感をいただけてきました。

平成22年の新年を迎えた1月6日、オンフルールのお祝いの会を開きました。

理事長につづいて専務理事から、お祝いのことばをいただいたあと、ボランティアの方々によるハーモニカの演奏に——みんなウツリ!!

やがて「なつかしい歌」「思ひ出の歌」など、みんなで大きな声で合唱し、晴れやかな気分で、新しい年を祝いあいました。



## 白梅豊岡ケアホーム

当施設は磐田市北部の旧豊岡村に位置し、平成18年の開設から今年で5年目を迎えます。

「利用者様の声にならない声を聞こう」という施設方針のもと、職員一丸となって日々サービスの質の向上を目指しております。

より良いケアを提供する為にも、当施設では職員個々のスキルアップを目指し職員研修を積極的に実施しています。今年度も全職員を対象にした救急法を行い、心肺蘇生とAEDの使用法について改めて確認することができました。その他にも、歯科衛生士による「口腔ケアについて」や、介護機器メーカーの外部講師による「新しい介護機械と介護技術」等、専門職による講義や研修を開催し、日常のケアに活かしています。今後も利用者様にとって生活しやすい施設にする為、またご家族にとっても安心してご利用頂けるよう、職員一同努めてまいります。





## 長 鶴 の 郷

当施設は、平成19年4月に開設、今年4月で丸3年を迎えるまだ若い施設です。

入所・通所・在宅支援施設として生活機能の維持・回復の為に介護施設としての機能はもちろん、楽しく、仲良く、そして安心・安全に笑顔の中で明るく介護を実践する様、毎日全職員奮闘中であります。

特に現在、レクリエーション・行事に力を入れており、先日も節分の日に行われた豆まきは、利用者様の笑い声が絶えず、好評でした。

笑顔の中で、昨日より今日、今日より明日。日を増すごとに元気になっていく姿を支え、鶴が羽ばたくようにご家庭に戻っていただける様、今後も全職員、全力でサービス提供に努めていきます。



## 五 洋 の 里

当施設は平成18年7月に開設し、今年で5年目を迎える施設です。入所定員は2階一般棟50名、3階認知症専門棟40名の計90名(短期入所含む)、通所リハビリテーション20名、居宅介護支援事業所を備えた施設です。

磐田市南部に位置し、南向きの窓からは風力発電の大きな風車、天気の良い日は東に雄大な富士を望むことができます。広く明るい施設内では、全職員を挙げて奮闘しております。また地域の皆様のお役に立てるよう、交流を積極的に行っております。今回は10月中旬に開催された、掛塚賣船神社祭礼へ参加する屋台とお囃子の体験レポートを紹介させていただきます。この祭典には建造200年以上の屋台も参加し、またお囃子は県無形民族文化財に指定されています。

昔の血が騒ぐのか、皆様お囃子に手を叩き、屋台の姿に手を合わせる方もいらっしゃいました。



## えいせい掛川

当施設は掛川市北部、緑豊かな上西郷に開設し今年で4年目となります。

入所100名(ショート含)、通所リハビリ40名で活動しています。施設すぐ横では天然温泉が毎分80ℓ以上の自噴をしており、入浴・足湯にと活用して、入所・通所利用の皆様にお楽しみいただいております。

これからも利用者様に心豊かで安心した生活を送っていただけるよう、日常生活援助、リハビリ、レクリエーションの充実に努力していきます。



## あ ら た ま

平成18年9月に開設し、この秋で5年目を迎えます。周囲を田園に囲まれ、四季折々に美しく景色を変えて行く、ゆったりとした時間が流れているような所に位置しています。

現在当施設が目指しているのは、より良いサービスを提供する事です。その為に職員間の勉強会に力を入れています。入所者の長期化もあり、高齢で重症化している方も増えつつあります。心のこもった看護、介護、リハビリテーションの充実に努め、職員全員でご利用者の方々のQOL向上に取り組んでいます。その為には地域の人々との交流も大切かと思ひ、季節の行事に積極的に参加していただいて、又ボランティアの交流も図っています。





# 部会報告

## 看護・介護部会

平成21年度の看護・介護部会は、「リスクマネジメント」「感染対策」「職員教育」のテーマ別にグループワークを行いました。

どのテーマもご利用者によりケアを提供する施設として必要不可欠なテーマです。それだけに各施設それぞれが課題としているテーマではないでしょうか。

リスクマネジメントでは転倒転落などの事故防止策については常に身体拘束とのジレンマに悩まされている施設が多いのではないのでしょうか。

感染対策では今年度は新型インフルエンザが流行し対策に苦慮した施設が多かったことでしょう。

職員教育に参加された方は正に職員教育に頭を悩まされているように思われます。離職率の高い職種とわれて久しいですが、どうしたら働き続けてくれるのか、入れ替わる職員に十分な教育ができないなど、参加された皆さんが個々に抱える悩みを話されたのではないのでしょうか。

それぞれのテーマで各施設での問題点や取り組みなどについて意見交換をすることで、他施設のアイデアやアドバイスを聞くことができたでしょうか。

また、それらを自分の施設に持ち帰り新たな取り組みを始めるきっかけにしたいでいたでしょうか。

時代が変わっていく中でまた新しい課題も出てくるかもしれません。その時はご意見をお寄せ下さい。今後も看護・介護部会をご利用者のケアについて、各施設の取り組みや問題解決のアイデアを積極的に意見交換できるような場にしていかなければならないと考えています。

皆様のご協力をいただけますよう、よろしく願っています。

## リハビリ部会

平成21年度のリハビリ部会が、静岡県総合福祉会館「シズウェル」にて10月21日に39施設の参加をいただき、開催しました。

今回は施設紹介とグループワークの2部構成で、施設紹介では「はるかぜ」と「ユニケア岡部」さんに訓練内容を含めた発表をしていただきました。普段他施設へ見学にはいけないため、2施設の発表で地域性や施設のカラーも含めて参考になりました。

グループワークでは「介護保険の見直しに対するリハビリの取り組みについて」のテーマの下、6グループに分かれ各施設の加算状況（短期集中、認知短期集中、ショート個別）、また他部署との連携など業務の工夫などについてディスカッションしていただきました。

21年4月の介護報酬の改正において、入所のリハビリマネージメント加算の丸めやショートリハビリ加算の追加、通所においても加算内容が変わるなど、訓練だけでなく書類においてもかなり困っている施設が多く見受けられました。グループで話し合った事を発表していただき、又解決しきれなかったことをフロアーで意見を求めたところ、多くの解決策が出て、活発な意見交換ができました。

この部会の際にアンケートをとらせていただいたところ、情報交換の場が欲しい、近隣施設との連携が取りたいという意見が多くありました。施設数は増えてはいますが、一施設で働くPT・OT・STの数は少ない為、こういう場が必要なのだと感じました。

これからこの部会が、情報の共有・参考となり、よりよいリハビリにつながるようすすめていきたいと思っています。



## 通所リハビリ部会

平成21年度の通所リハビリ部会は、12月11日に静岡県総合福祉会館「シズウェル」にて開催しました。28施設41名の参加を頂き、テーマ別のグループディスカッションを行いました。

現在通所リハビリを取り巻く環境としては「通所」という事業に対するニーズと「リハビリ」に関するニーズはますます大きくなっています。また、「通所介護」との区分けや、報酬改定に伴う複雑な加算体制等もあり運営の大変さが考えられます。そういった中で今回は「リハビリへのニーズと個別リハビリ実施状況」「マネジメント加算運用について」「感染予防、防災対策」を主なテーマとし、各施設での現状や抱えている課題について意見交換を行うことができました。

今年度4月の介護報酬改定により月8回以上というリハビリテーションマネジメント加算など、事業所側だけでなく利用する側（居宅CMも含む）にとっても難解なものとなっている状況のなか、各施設での取り組みや工夫、実地指導の情報などが共有でき、参考や刺激になったのではないだろうか。一方個別リハビリの実施状況において多くあがってきた課題はやはりPT・OT等のリハビリスタッフの不足により、十分なリハビリを提供できていない施設が多くみられました。少ない配置基準や加算報酬のなかで、介護老人保健施設の在宅支援機能としていかに役割を果たしているのかが、大きな課題となっています。

また、今年度は静岡県内においても、地震や台風等の自然災害や新型インフルエンザの流行などが見られました。そのため、マニュアルや対策等の情報交換をする中で、多くの施設がマニュアルの整備や訓練をすることが急務であると振り返っていました。

短い時間ではありましたが、今後も他施設と交流を持ちながら、通所リハビリという事業を盛り上げていければと思います。

## 支援相談員部会

平成21年度の支援相談員部会は、12月16日に「静岡県産業経済会館」にて、年末のお忙しい中、46施設51名の支援相談員の参加を頂き開催しました。

今年度の部会は、「支援相談員業務において、抱えている疑問や困っている事、ケースについて」というテーマに、1グループ約10名のグループワーク形式で行われました。当日のテーマは事前に各施設に提出して頂いたアンケートを大きく5つに分類し、各グループがそれぞれ担当テーマを持っていたので、話をすすめました。



大分類されたテーマは、「医療、利用者の重度化」「退所の関わりについて」「家族への説明、苦情対応について」「相談員の業務」です。同じ老健の支援相談員として日々業務にあたっている中で、抱えている問題や疑問は共通している様でした。

「医療、利用者の重度化」を担当したグループでは法改正等で新しく設けられる加算や、医療ニーズが高くなった利用者、入所の長期化やターミナル加算等の支援相談員としての対応について、自分の施設での事例をあげるなど積極的に意見交換をしていました。

またどのグループにおいても施設内における支援相談員の位置付けや他部署との関わり、苦情窓口としての苦悩など、支援相談員にしか分からない悩みや支援相談員にしか感じることでない喜びなど、同じ立場だからこそお互いに理解しあえる事もあった様に思えました。

限られた時間だったので、話がまだまだ尽きない様子でしたが、この部会において、老健の支援相談員として抱えている多くの問題の良い対応策を見つける事ができればと思います。日頃、交流の少ない他施設との意見交換の場となる部会の重要性を感じ、もっと多くの支援相談員に参加していただけるような部会を目指していきたいと思えます。



## 栄養部会

平成21年度の栄養部会が、静岡県総合福祉会館「シズウェル」にて平成21年10月19日に40施設50名、又平成22年2月15日には男女共同参画センター「あざれあ」にて38施設46名の参加を頂き、二回にわたって開催しました。

第一回の栄養部会では、栄養ケアマネジメントの経過記録や施設サービス計画書と栄養ケア計画書の一元化に対する具体的な方法等の取組みを聞く事ができる良い機会となりました。又、症状別に補食を取り入れる方法や食欲不振の方への食事の提供における話し合いでは、種類や材料費等を考慮した意見を聞く事ができ、第二部の「各施設の特製カレー」の試食会も合わせて実施され、各施設の有意義な工夫、意見を交換する事ができました。

第二回の栄養部会ではグループワークをはじめ、「施設自慢の手作りおやつ」という内容で予めレシピで紹介をして頂き、楽しく試食会を行う事が出来ました。今回のグループワークは、2010年版の食事摂取基準における約束食事箋の変更の有無について議題にあ

がりました。一般食の栄養価をベースとして個々の栄養状態に合わせた適正栄養量を提供する施設が多く、栄養管理の重要性を確認する事が出来ました。これからも自分達の果たす役割を高い意識を持って、より良い食事提供を目指していきたいと思えます。





# 平成21年度 職員研修発表会

## ◆第1回 職員研修発表会の演題◆

(平成21年10月13日 静岡県総合社会福祉会館「シズウェル」)

- ★「機能・視覚障害のある入所者に対する食事へのアプローチ」〔白梅ケアホーム〕
- ★「構音障害者への発語訓練の実践」  
～A氏の思いにそった試み～〔グリーンヒルズ藤枝〕
- ★「介護老人保健施設での褥創ケアへの取り組み」  
～専門知識を生かしたケアの実際～〔ききょうの郷〕
- ★「転倒予防体操と認知症緩和ケア」〔のぞみ〕
- ★「認知症の利用者へのかかわり」  
～その人らしさを大切にしたい寄り添うケア～〔すずかけの街〕
- ★「認知症フロアで働くスタッフのストレス解消への試み」  
～リラクゼーションの導入 アロマ(香り)の効果～〔ヒューマンライフ富士〕
- ★「より良いケアを目指して」  
～2回の認知症ケアマッピングを実施してみえたもの～〔西山ウエルケア〕
- ★「高齢者バランス能力評価法を通しての維持期リハの役割」〔白梅豊岡ケアホーム〕

## ◆第2回 職員研修発表会の演題◆

(平成22年2月23日 静岡県総合社会福祉会館「シズウェル」)

- ★「よりよい食事介助を目指して」〔なかよし〕
- ★「日光浴による夜間良眠をめざして」〔梅名の里〕
- ★「困難事例から学んだこと」  
～Wさんの心に寄り添って～〔神子の園〕
- ★「よ～く考えよう？ 睡眠大事だよ～」  
～O.S氏とのかかわりの中で得たもの～〔アポロン〕
- ★「新メニューにおける喫食者及び調理者の反応」〔於保老健センター〕
- ★「寝かせてくれ!!」の裏側に…  
～その裏の心の叫び～〔アポロン〕
- ★「機能訓練による食事自己摂取向上への取り組み」〔グリーンヒルズ藤枝〕
- ★「始めよう! 続けよう! 嚥下体操!!」  
～嚥下体操の効果について～〔さいわい〕
- ★「通所リハビリテーション利用者の中での精神面・  
身体機能面への取り組み・効果について」〔富士ケアセンター〕
- ★「おむつでの排泄は『ふつう』じゃないんです!」〔すずかけの街〕



# 静岡県老健協主催 研修会参加レポート

## 看護・介護部会に参加して…

### ★参加テーマ★[職員教育]

職員を育てるということで各施設色々な工夫・取り組みをしていることがわかり、情報を得ることができました。また、困っていることも同じ点で、悩みを持っていること等もあり、その点について話すこともできたので良い部会になったと思います。

最後の発表を通して、他グループやリスクマネジメント・感染についても聞くことが出来、参考になりました。

### ★参加テーマ★[感染対策]

各施設の現状、課題、質問等を聞く事が出来て、今後の施設に戻った後の対応に活かしたいと思います。

“感染予防対策”⇒手洗い、うがい、マスク、咳エチケット、面会時の対応等の基本となる対策を全職員が確実に実施するという事でした。

利用者様の快適、安全に過ごして頂く為に部会で話し合った事項を、職場での勉強会等で活用していきたいと思います。

他の施設との交流で新しい発見が有り、とても意義有るものでした。



### ★参加テーマ★[感染対策]

介護職になり1年目です。今回の部会で感染に対する各施設の方の話が聞けて大変勉強になりました。職員教育で知識を共有し、一人一人の能力を上げて感染対策に取り組んで行きたいと考えます。

又、利用者さんの日々の状態観察を再度認識しました。今日の勉強会で得たことを仕事に活かせる様にしていきます。

ありがとうございました。

### ★参加テーマ★[職員教育]

他施設の取り組みが多く出て、とても参考になりました。自分たちの施設で行き詰まっている問題に対し、ヒントの様な物を得た感じになりました。

職員教育というテーマは、とても難しい内容で、どの施設も同じ問題を抱え、少しでも良い改善点を見出そうと頑張っている姿勢に勇気づけられ、明日の業務に早速活かすことが出来ればと思います。

施設内の職員の良好な環境づくりが利用者へのサービス向上にも繋がると痛感しました。

### ★参加テーマ★[感染・リスク・職員教育]

他施設の感染対策に対しての意見を聴く事ができ、自分達の施設が気づかない事、また逆に参考にしていただけた事など、気づきの多い時間となりました。

感染だけでなく、リスク、職員教育の件でも話を聴き、すべてのケアの問題点の基本には、利用者様に目を向け、スタッフサイドの意識向上が重要である事だと思いました。

### ★参加テーマ★[職員教育]

第1回では「身体拘束」を、今回は「職員教育」について参加させて頂きました。

他の施設では、どんな取り組みをしているのか興味がありましたが、ほとんどの施設で同じような悩みを持ち、対応に苦慮していると知りました。

いろいろな対策を耳にして、自分の施設でも実践できる事は取り入れていきたいと思っています。また、違うテーマで話し合ったものの意見等を聞くことにより参考になるため、よいと思います。ありがとうございました。

### ★参加テーマ★[身体拘束]

身体拘束・職員教育・感染対策のグループに分かれてグループワークを行いました。私は身体拘束のグループで意見交換をしましたが、どの施設も問題を抱えていて、解決策を探しながら日々のケアを行っているという意見が多くありました。やはり身体拘束廃止においては施設がひとつになり全職種で取り組むことが重要であると再認識できました。又、教育に力を入れている施設も多くあり、その中には「職員のメンタル面のケアも重視している」という発表がありました。多くの意見を聞くことができて、新たに気づいた事や再認識ができて勉強になりました。



◎ 今回の研修では、県内の老健のリハビリスタッフでの意見交換を中心に行なわれました。

グループごとの意見交換では、今年4月に改正されたリハビリの加算の実施状況を中心に話しあいが行なわれました。短期集中リハビリテーション加算については、どの施設でも、入所・通所とも実施されていました。認知症短期集中リハビリテーション加算については、通所に関しては実施している施設はほとんどありませんでした。入所に関しても実施している施設は少なく、実際に行なっている施設でも、対象となる方が少ないという話がありました。実施が少ない理由として、対象となる利用者様が少ない、なぜ加算をとるのかという理由などが無いという話がありました。各施設によってリハスタッフの充足数にも差がみられ、スタッフの人数が足りていない施設では通所リハが中心となり、入所者のリハビリを実施する時間を確保することも大変な様子でした。通所に関しては、加算に対しての回数規定ができたため、回数の調整などケアマネジャーとの調整が大変な様子でした。入所に関しては、全員に対してのリハビリが基本サービスとなり全員対象になったので、スタッフの人数が少ない職場では、通所リハビリの終了後の限られた時間で、入所者様のリハビリを行なわなければならない、苦勞をしているという話でした。現在、当施設ではリハビリスタッフが利用者様の人数に対して充足している状況なので、よりよく関わりができるように、リハビリの業務等の工夫を行なっていきたいと思っています。

作業療法士

リハビリ部会  
に参加して



## 通所リハビリ部に参加して…

- ◎ 一口に通所リハビリと言っても規模、内容さまざまで他施設の様子がわかりとても参考になりました。

月末のレセに関わっていますが、リハビリ・リハマネの加算等、迷いながらやっていたこともあります。今後は多少自信をもってやって行けそうです。

リハ職が多くいらっしゃり、リハビリ面に於いて大いに参考になりました。リハビリの対象でない方の過ごし方について、今日出た意見を参考にしていきたいです。

介護職員

- ◎ 今回の通所リハビリ部会では、グループディスカッションを中心とした研修会でした。ディスカッションは①個別リハビリの実施状況 ②マネジメント加算について ③感染予防マニュアル、防災対策を中心に行われました。
- ①の個別リハビリの実施状況では、施設でのリハスタッフ、ケアスタッフの充足数により、実施状況の差がみられました。スタッフが充足している施設では、全員を対象に個別リハを実施できていました。スタッフの人数が少ない施設では、個別リハを実施する時間が確保しにくいと話がありました。
- ②のマネジメント加算については、8回以上利用の場合に算定できるため、ケアマネジャーとの連携、他施設との併用の方の利用日数の調整が大変という話がありました。7回以下の利用でも、必要性が高ければ、医師の許可(指示書)にて算定でき、実施している施設もありました。本人の都合にて利用回数が7回以下の場合、4.5回を境界に加算を算定するか判断している施設がほとんどでした。
- ③の感染対策では、インフルエンザに対しての注意を家族に書面にて配布する、朝の送迎時に検温を行い、37.0℃以上であれば通所利用を中止していただいているという話がありました。また送迎車の消毒を行なっている施設もありました。防災対策では、火災に対してはマニュアル、避難訓練等も実施している施設がほとんどでした。地震、台風等の災害に対してはマニュアルが充分でない施設が多かったです。今年、静岡で起きた地震で、一日断水となってしまった施設から「一日水が使えず大変だった」「水を使えないことで恐怖心を感じた」という話がありました。地震や台風等の災害に対してのマニュアル作成の要望が多く聞かれました。

作業療法士

- ◎ 各施設でのリハビリでの取り組みが参考になり良かったです。個別リハビリ以外でのリハビリを取り入れた活動を行っている施設全員が個別リハビリ対象であったり、取り組みは色々でした。OT・PTさんの話がたくさん聞くことができ、施設に戻っても参考にさせていただきたく思います。

介護職員

- ◎ 他施設での加算や現状についての情報交換ができて良かった。他職種との関わりも持つことができました。

リハ加算に対する見直しやリハマネについてなど、みなさんからの意見を参考にし、レクリエーション内容なども伝えていきたいです。

理学療法士

- ◎ リハ実施状況が聞けたのでよかったと思います。介護側で実施している体操、活動メニュー等を知ることができてよかったと思います。また、悩む部分も共通していることがあるので共有できて良かったです。

作業療法士



- ◎ 今回の会では自由に発言、意見交換が出来てとても有意義な時間でした。他施設との情報共有、交換の場は大変少ないので、もっと多く開催されても良いと思いました。

また、レクリエーション等での取り組み、アイデアの情報提供、交換等の機会も欲しいと思いました。

介護職員

- ◎ 各施設の方々、いろいろな工夫をされ、運用・特色をだされていると感じました。

当施設のおいても“特色”をだすことについて、常に検討課題となっています。リハビリメインとして何が出来るかミーティングを行っていききたいと思います。

作業療法士

- ◎ 防災時の連絡網や備蓄品等の再確認や、どのようにしたらよいかなど、気づいたため、今後に活かしたいと思います。

作業療法士



## 支援相談員部会に参加して…

### ◎・県内45施設51名によるグループ討議・

医療、利用者の重度化、退所時の関わり方について家族への説明・苦情対応、相談員の業務等を主なテーマとし話し合った。各施設の特色により全てが該当するケースにはならなかったが中でも利用者の重度化と長期化、身体拘束、看取りについてはほぼ全施設が該当し、様々な意見がだされた。これらの事項は全てに連動性があり、個々の事項で話し合うことはもちろんだが、一個人として広い視点から検討することも重要であると考えられる。看取りについては実際におこなっている施設がほとんどであったが加算については約3割（グループ内）に満たなかった。実際に行っているところは独自の基準や書式が作成され家族との話し合いがもたれている。しかし明確な基準がない為、実地指導等で担当者からの指摘により改善、見直しがされているところが現状である。

当施設に該当する減額対象者の増加については他施設では該当せず1割に満たない状況（グループ内）。又、他科受診の看護師の付き添いについても、他施設では長時間拘束されることはない聞き、当施設だけなのかと疑問を感じる事項もあった

社会福祉士・介護支援専門員

## 栄養部会に参加して…

### ◎ 内容／利用者ニーズに応える、より良い介護食をめざして。施設情報交換。各施設、自慢の手作りおやつ、試食会。

施設の行事食では、まぐろの解体ショーを行っている施設があり利用者様を楽しませている工夫に驚きました。時期に合わせたイベント食は各施設で工夫しています。手作りおやつについては毎日提供している施設から週1回程度の施設もあります。毎日提供しますので、手作りおやつは量によっても提供が難しい面があります。おやつのバリエーションを増やすことで、入所者様に喜んでいただける工夫をしていきたいと思います。施設の特色が違う中で、他施設の職員と意見を出し合う事でさまざまな問題点を持ち帰ることが出来て良かったです。

管理栄養士

◎ 1部ではグループワークを行い、主に栄養ケアマネジメントの進め方や実地指導の済んだ施設の報告他に食形態の工夫、栄養補助食品、おやつの提供について、各施設の状況を知ることができました。特に、施設サービス計画書に栄養ケア計画書を、盛り込んで一元化している施設は、参加したグループ内にはなく、今後、検討したいと思いました。褥創や食欲不振者への対応は、各施設共、栄養補助食品を提供している又は家族に、差し入れをしていただき入所の方に合った、食事内容にしているとのことでした。災害時の非常食は、水の備蓄を1人当たり2～3ℓ/日、3日分としている施設が、ほとんどでした。中には、使い捨ての食器の備蓄、弁当屋と提携している施設もありました。

2部では、自慢のカレーの試食を行ない、カレーのじゃがが芋の代わりに里芋を使用していると、聞いて驚きました。本日は参加したグループの、施設の栄養士が皆活発な意見を出し合い、とても有意義な時間になりました。

管理栄養士



## 職員研修発表会に参加して…

◎ ・認知症の利用者、その人らしさを大切にしたい寄りそうケアとは、①持っている力に着目したケアを行い、その人らしさを発揮して頂く。②自分で食べてトイレで排泄するといった、あたりまえの生活をケアの基本としていく。③その人らしさを大切にしたいプランを立て、評価し、変化を見えるものとしてチームで共有していく。④日々の遊びリテーション、外出、リハビリなど一緒にいき、利用者の出来ることを発見し、生活の幅を広げる。⑤生きていく姿勢を支えていき、穏やかに安心して生活して頂く。⑥職員の関わりの中での意識を変化させることで、利用者も気持ちに変化していく。以上の6つの項目が利用者と関わっていく中で大切になる。又、一人一人の心の声を受け止めていき、共に寄りそいながら一緒に生きていくという姿勢が、ケアの質を大きく変化させていく。利用者だけに楽しんで頂くのではなく、職員自身も穏やかな気持ちで楽しく時間をすごしていくことで、新たな発見と感動を見つけていくことが出来る。

・認知症のフロアで働くスタッフには、ストレスというものが常に付きまとう。ストレスを少しでも軽減し、働いている中でリラクゼーション効果がえられる代表してアロマセラピーが挙げられる。好きな香りを調査し、各フロアにて実施すると、続けていくうちに、食事や排泄物のニオイが軽減したという結果が出た。又、人によっては、表情が穏やかになり、不穏な状態が軽減したという結果もある。人それぞれ好みの香が違うのでそこを考慮して実施していけば、職員、利用者共に穏やかに生活でき、良い環境へ変化していくことが出来る。その他に、よい環境をつくっていくために、5分おきに、利用者の様子を観察していく、“マッピング”という評価法がある。5分おきに観察し、様子を見ることで、今、自分が話した事、行った事によって、利用者にとってどんな影響が見られたかなどをフィードバックしていく。このようなことを実施することで、私たちの一つ一つの行動による良い点、悪い点が理解でき、良いケアにつなげることが出来る。

・ケアと一言で言うことが出来るが、ケアの中にはいろいろなものが入っている。全てのケアに当てはまることは、職員の考えで行動していくのではなく、利用者一人一人の個性を十分に理解し、それを生かしたケアが大切となると学んだ。そして、良いケアをすることで転倒や褥瘡などの二次的障害も予防することが出来ることを学んだ。

作業療法士





## 職員研修発表会に参加して…

◎ どの施設も色々な事例に試行錯誤しながら取り組んでおり、共感できる所も多く大変勉強になりました。他職種の方の発表を聞く中でさまざまな視点からの意見を聞く事もできました。研究の結果とは別にチームで連携をとり一つ一つの事に取り組むことでケアの質を上げて、職員の意識付けが出来ていくことを学びました。

介護福祉士

# 全国・東海北陸ブロック研修レポート

## 東海北陸ブロック大会に参加して…

◎ 老健大会に参加させていただき、当然のことですが日々同じような問題にぶつかりながら業務をして、それぞれの施設で、職種は違っても、協働しながら工夫されていると感じました。と同時に、今現在当施設はハード面では、とても恵まれた状態であり、その中で入所者様がいきいきと生活できるよう援助させていただく努力が自分自身必要だと感じました。

介護職員

◎ 身体拘束廃止、オムツを使用した症例などがありました。身近なことから行い、利用者中心にスムーズに業務が行えるよう努力していくことが大切だと思いました。フットケアの症例では、入浴時の足の洗浄、様子を観察し、入浴後処置と清潔保持に心がけていますが、その時点で靴の観察やマッサージなど清潔プラス心地よさまでは追求していきませんでした。今後はもっと観察していく必要があると思いました。老健大会に参加させていただき、どの施設も他職種との連携、協力を大切にし、同じ目線で利用中心に援助していると感じました。日々の業務の中や利用者さんからも多くのことを学びますが、これからもたくさんのことを学びながら成長していきたいです。

介護職員

## 全国大会に参加して…

◎ 認知症について他の施設ではどのように対応し、取り組んでいるのか。発表では、どの施設でも職員が協力する事により、よりよいケアを提供しようとしている事がわかった。では、自分の居るフロアではどうだろうかと考えました。なぜ利用者が問題行為や不穏になるか等、職員の中で話すことはあまりなく、問題行動がある人は大変だと考えていました。他の施設の取り組みを聞き学んだ事は、なぜ問題行動を起こしたり不穏になるかを職員全員で考え、利用者と個別にアプローチをし真のニーズを理解して職員間でケアを統一することが大切である事を感じました。現状では大まかな事は統一されていますが、細部は各職員により違ってきています。職員ごとに違うケアを提供することにより、介護者本位の介護になってしまっていると思います。利用者が安心して生活でき、満足出来るケアを提供出来るように努力していきたいと思っています。又、ターミナルケアについて、介護職員はどのように対応していけばいいのかと不安があります。利用者を看取った事がありますが、知識も経験もなかった為、とまどってしまいました。他の施設では、研修や勉強会を行い、利用者、家族、職員が死について考え、よりよいケアを行おうとしています。看取りと言う要望がある中で勉強会や研修が必要ではないかと感じました。勉強会を行うことにより、不安や疑問が少しでも解消出来るのではないかと思います。最後に全体を通して学んだ事、感じた事をこれからの仕事に生かしていきたいと思っています。

介護職員

◎ 今回、新潟老健大会に参加させてもらい、とてもいい経験になりました。私が働いているフロアには、さまざまなレベルの方々が入所されているため、今回の老健大会で数多くあるセッションの中から『総合的ケア』を中心に演題を聞いてきました。中でも私が興味を持ったのはチームケアです。ケアの質の向上の為に、他職種との連携、情報の共有など、職員一丸となる事はとても必要だと感じました。私も副主任としての立場から、環境作りや他職種への働きかけ、職員の意識の改善・向上など、利用者さんにはよりよい介護を、職員にはスキルアップに繋げていけたらと思います。

今回の老健大会を通して、今の職場でやってみたいものなど数多くあり、中でも個別ケアや接遇への取り組みはすぐにでも業務の中で実践していきたいと思っています。この大会で学んだ事を活かし、今後利用者さんのレベルが重度化していき介護量もUPしていく中、より一層よりよい介護に努めていきたいと思っています。

介護福祉士

◎ 多くの会場において、各種色々な発表がされていましたが、全部聞くことが出来ないため、認知症について聞くことにしました。地域によって色々な取り組みをされていて大変勉強になりました。又、全国大会で発表をしましたが、聞き手側に理解してもらう為に内容や話し方を工夫しましたが、難しい事だと思いました。今後の業務に活かせるように周りやスタッフに伝達をしました。

介護福祉士



# その他の研修会レポート Vol.1



## 「新型インフルエンザ対策研修会」に参加して…

◎ 新型インフルエンザの流行規模が拡大している。感染率（RO）1.2～1.8と予測され季節性インフルエンザと同程度でありやや高い死亡率である。かかると思わず、のどの痛み、鼻汁、くしゃみ、咳、頭痛、寒けなどと共に発熱、筋肉痛、関節痛、眼珠の痛み、腹痛、下痢など幅広い症状がみられる。感染経路は接触感染→目鼻、口、粘膜、結膜を通じる。飛沫感染→感染している人の咳、くしゃみ、つばとともに放出されたウイルスを健康な人が吸入することによって感染する。当施設では新型インフルエンザ対策として看・介護研修、感染対策委員会等、通して予防法はすでに周知徹底されているが、手洗（手指消毒）、うがいを励行すること。手洗いは親指も洗うことを忘れずに手をきれいにしよう意識すること。速乾性アルコール消毒薬を手指、手首まで乾くまで15秒以上かけて擦り込む。手が荒れていると院内感染を起こしやすい（アルコール消毒、単独の使用でも十分に効果があるとのこと）。サージカルマスクの着用はあごまですっぽり隠すようにすること。手洗い、うがいができない高齢者には手指アルコール消毒の噴霧、口腔ケアをする。口腔ケアを行う事によって肺炎の危険度を押さえる。感染予防は、本来私達が毎日の業務において常に行なうべきことで新型インフルエンザの流行がはじまったから行なうような特別のことではないと思う。

介護福祉士

◎ 新型インフルエンザにうつらない、うつさない感染防止の為にマスク着用、外出は控える 接触感染を防ぐには、常に手をきれいにしておく事が一番の予防策。飛沫感染防止の為にマスクを着用し、しっかりと顎まで覆い、息がもれない様着用する。

予防：手洗い・うがい 手洗い・アルコール速乾性手指消毒薬・石けんと水道水の手洗い 単独でも十分効果はある。

石けんと水道水の手洗いの後のアルコール消毒薬の併用は、手が荒れてしまい菌が入り院内感染をおこしやすくなる。

うがい：水道水で十分効果ある うがいができない高齢者には口の中を清潔にしておく事。

発症後3～5日後が感染しやすい、治療は抗ウイルス薬（タミフル、リレンザ）の投与。（発症後48時間以内に開始する事が望ましい、治療期間は5日間）

治療：休養と対症療法が基本

施設での流行は施設に大きな負担となる。職員が感染すると同時に休む可能性がある。無理をすると利用者や職員が感染してしまう。

職場での「休める」文化作り、「休める」ふんいき作り、本人の「休む」勇気も対策の一つ

感染対策は、本来毎年行なうべき事。なんら特別な対応ではない。いつも通り、無理せずしなやかに対処していく事が大切。

看護師

◎ 防災訓練・研修を実施しました。実際に消防署の方に来ていただき消防署への通報の仕方、消火器・消火散水栓の使い方を学び、その後、屋外にて初めてとなる「スモークマシン」と「地震体験車」を使った訓練を行いました。「スモークマシン」とは TENT を張り、中に無害の煙を充満させることで、火災時に煙によって行動にどのような障害があるのかを体験する訓練です。今回は職員にハンカチやタオルを持参していただき、TENT の中に入ってもらいました。「全く前が見えず、真っ直ぐ進めなかった」「たった数メートルが長く、迷路のようだった」「喘息持ちの人にはとても恐ろしい」等感想を聞くことができました。「地震体験車」は車の中が家の中の様にデザインされており、地震が始まる前に予告がありますが、今から揺れると分かっているにもかかわらず、特に震度7は昨年8月11日の震度6弱の地震とは比べものにならないくらい、凄まじい揺れでした。たった1震度が変わるだけでこんなにも違うものなのかと地震体験車に乗った職員は驚きを隠せない様で、後の感想でも「想像と実体験ではまるで違う」「家具の固定がどれだけ重要か分かった」「本当の地震だったら怖くて何もできなかったと思う」等聞かれ、それぞれが自宅、職場の設備や災害時の職員の勤務態勢等を見直す良い機会になりました。いつかると言われている東海地震。そして火災は起こさない事が第一ですが、「もし」「いざという時」に備えこれからも訓練を続けていく事の大切さを改めて感じた研修でした。

介護福祉士

防災訓練・  
研修に  
参加して…



## 魚を使った調理技術研修会に参加して

### ○魚の大名卸し

頭の方から中骨にそって尾まで一気に3枚におろすこと。中骨に身が多く残ってしまうとおいしくないのでこの名がある。

(中骨の部分はあら煮や潮汁などに用いる。)

### ○秋刀魚の焼き物

塩・胡椒をし、軽く巻き妻楊枝で止め、170~180℃のオーブンで焼く。長芋とパプリカをのせて再度オーブンで焼く。

### ○鰯の開きサラダ

大根・水菜・トマト・豆腐の上に焼いてほぐした鰯をのせ海苔をのせ、ドレッシングをかける。

### ○秋刀魚の蒲焼き風佃煮(佃煮風煮付け)

小麦粉をまぶした秋刀魚をフライパンで焼き、ニンニクの芽・調味料と一緒にサッと煮る。

### ○鯛の笹ずし

酢飯に木の芽と鯛の薄切りをのせ、笹の葉で包む。

★以上、4品を秋刀魚、鰯、鯛を使って教えて頂きました。



⇒秋刀魚の焼き物



⇒秋刀魚の蒲焼き風佃煮



⇒鰯の開きのサラダ



⇒鯛の笹ずし

調理師

見た目もきれいで、わりとかんたんにでき、とてもおいしいです。今日、教えて頂いた事を参考にして。これからもよりおいしいメニューを取り入れたいと思います。

## 福祉・介護関係者のための 成年後見活用講座に参加して

- ◎ 成年後見制度は判断力のない又は不十分な人の権利を守り、安心して日常生活を送ることができるように支援する制度。補助、保佐、後見からなる法定後見と任意後見の2つから構成される。後見は判断能力が欠く(0~10歳程度)、保佐は判断能力が著しく不十分(10~15歳程度)、補助は判断能力が不十分(15~20歳程度)で判定は裁判所が行う。ノーマライゼーション、自己決定の尊重、残存能力の活用という3つの理念がある。

任意後見は判断能力を有している間に公証人役場へ行き、公正証書で任意後見人を自ら事前の契約によって決めておく制度。

成年後見人の職務の法律行為(法律に基づく行為)は財産管理と身上監護(生活上の必要性の調査、必要なサービスの手配、契約、監視、見守り)がある。後見人には同意権(ある法律行為を行う時に成年後見人の同意が必要となること)、取消権(同意なくして行われた法律行為を本人や成年後見人が取り消せる権限)、代理権(本人に代わって契約などの法律行為を行うことができる権限)が判断能力に応じて決められた範囲内で与えられる。本人の意思に反する身体的強制、生命・身体に危険を及ぼす可能性のある医療行為に対する同意権、身元保証人や身元引受人となることは権限が及ばないためできない。

申立てには本人の判断能力の状況、何を目的に(本人の権利擁護の一つの手段として利用されている)、誰が申立て人となるのかを考慮する。本人の生活を管轄する家庭裁判所に申立てる。申立て人は本人、配偶者、四親等以内の親族等。申立て人が後見人の候補者となる場合が多い。親族の後見人は68.5%で減少してきている。費用負担は申立て人に課せられる(精神鑑定代の負担が高く、5~10万くらいかかる)。

身寄りがいないなどで本人の福祉のため特に必要とされる場合、市町村長が申立てを行うことができる。利用者の6~7割は非課税世帯で収入面で厳しい人が多い。活動開始後の費用は個人の経済力に応じて決められる。経済的に困難な人への援助もある。第三者の後見人が増えており司法書士、弁護士、社会福祉士が行っている。

法律事務所(日本司法支援センター)の弁護士の話

多重債務、悪質訪問販売、振り込み詐欺など高齢者の消費者トラブルが増加している。契約を結ぶ時に慎重になる事が一番大切。多重債務問題は利子を払いすぎていることが多いため、まず借金が残っているのかを調べる事が第一歩。悪徳訪問販売などクーリングオフ制度の利用条件は営業所以外の場所で、一定の商品を購入し8日以内に書面で「解除したい」との意思表示をする。法テラスは収入・資産が一定基準以下の方が対象で無料法律相談や弁護士費用の立替えの援助を行っている。

成年後見人の職務や申立てについて大筋を理解できたが、今後実際に後見人と関わりながら学んでいきたい。実際の利用者には経済面で困難な人が多いこと、第三者後見人が増加していることを知った。今後も権利擁護の選択肢の一つとして頭に入れ、利用が必要となる人への提案ができるよう理解を深めていきたい。

社会福祉士



# その他の研修会レポート Vol.2



## 介護相談員・ 施設職員意見交換に 参加して…

◎「日常生活自立支援事業」についての講義があった。成年後見制度を補完する事業。判断能力が不十分な人で手帳、介護認定の有無は問わない。福祉サービスの利用援助が必要な人が対象で金銭管理や書類等の預かりサービスが付随する。そのうちの38%が生活保護市の利用者は約300名で何らかの権利侵害を受けていた人が9割。福祉サービス利用援助をどの程度受給者。施設入所者も対象。グループホーム利用者が特に多い。福祉サービス利用の方が増加していくため理解を深めていきたい。

意見交換では月1回の訪問活動をよりよく行うための対応を話し合った。施設・介護相談員との信頼関係、情報提供・共有が大切。訪問時に「特にこの人を」と声掛けしてほしい利用者を持ちかける。終了時には時間を作って話をするなどコミュニケーションを大事にする。大勢に少しづつ声掛けをするよりは一人の話をじっくり聞いてほしい。次回に持ち越さずその場で解決できるよう話を終えてほしいなど双方の意見が出た。

介護相談員より拘束について、施設の相談員やケアマネの仕事、リハビリについてなど訪問時にはわからないことの質問があった。いろんな施設に訪問していて、こういった勉強していても施設の中のことはわかりにくいということを感じた。こういった研修の機会や利用している家族を通じて少しずつ施設のことを理解してもらえよう努めていきたい。

社会福祉士

◎今の時代「うつ」「ストレス」と言う言葉は氾濫し、身近な問題となっています。私たちが従事する介護現場に於けるストレスも要因は多様で、職種によりその内容も違ってきます。ストレスを予防していくには先ず日頃から話せる「相手」と「場」がある事が大切で、同時に介護職としての「仕事への魅力」や「仕事のコントロール力」を高める事も重要です。講座の中で、上司からどんなサポートが欲しいか？の現場アンケートでは、「暖かい言葉がけ」「平等に話を聞いてほしい」と言う結果が出ている内容がありました。ストレスの多くは精神的に疲労している為、情緒的なサポートが必要です。「話を聞く」のも事務的にただ聞くではなく、上司、部下と言う関係と共に、人間同士、仲間同士の視点も必要です。その上、聞くではなく、心と耳で真剣に「聴く」姿勢が大切なのだと思います。この事は私たちが利用者の方に接する時の姿勢にも通じる事です。更に上司や管理職には、それを上回る「責任」「システムの中の自己」「経営の中の自己」と言うストレスが多々あります。又、ストレスは他者からによるものばかりではなく、自己の生活習慣との関係も原因となる為、自己でのコントロールも必要です。ストレスの予防には先ず「笑い」「話す事」「健全な生活習慣」そして「他を受容し共感をする能力」を高めていく事が大切なのだと思います。この講座研修を終え、大切な仲間でもあるスタッフ一人一人が嬉々として利用者の方への介護に取り組めるよう、笑顔と会話の絶えない職場環境をこれからも維持していきたいと思いました。

介護福祉士

## 介護職の為の ストレスマネジメント 講座に参加して…



# 平成21年度 静岡県老人保健施設協議会 事業報告

## 平成21年

|            |  |        |
|------------|--|--------|
| 4月16日      | 幹事会  | 浜松市    |
| 5月14日      | 平成21年度 静岡県老人保健施設協議会 定期総会                   | 静岡市    |
| 5月21日～22日  | 第5回 東海・北陸ブロック老健大会<br>60演題中静岡県7演題発表(座長1名派遣) | 富山県富山市 |
| 7月7日       | 全国老人保健施設協会 支部事務担当者会議(事務局長出席)               | 東京都    |
| 7月22日      | 全国老人保健施設協会 第1回支部長会(支部長出席)                  | 新潟県新潟市 |
| 7月22日～24日  | 第20回全国介護老人保健施設 新潟大会(座長4名派遣)                | 新潟県新潟市 |
| 10月13日     | 第1回 職員研修発表会 8演題発表                          | 静岡市    |
| 10月19日     | 第1回 栄養部会 研修会                               | 静岡市    |
| 10月21日     | 第1回 リハビリ部会 研修会                             | 静岡市    |
| 10月23日     | 第6回 東海・北陸ブロック老健大会打合せ会(事務局長出席)              | 三重県鳥羽市 |
| 10月29日     | 幹事会  | 静岡市    |
| 11月19日     | 第1回 看護・介護部会 研修会                            | 静岡市    |
| 12月10日～11日 | 1泊実務者連絡会                                   | 熱海市    |
| 12月11日     | 第1回 通所リハビリ部会 研修会                           | 静岡市    |
| 12月16日     | 第1回 支援相談員部会 研修会                            | 静岡市    |

## 平成22年

|       |                     |     |
|-------|---------------------|-----|
| 2月15日 | 第2回 栄養部会 研修会        | 静岡市 |
| 2月20日 | 第1回 機関誌「老健しずおか」編集会議 | 静岡市 |
| 2月23日 | 第2回 職員研修発表会 10演題    | 静岡市 |
| 2月25日 | 第2回 看護・介護部会 研修会     | 静岡市 |
| 3月20日 | 第2回 機関誌「老健しずおか」編集会議 | 静岡市 |

### 第6回 東海・ 北陸ブロック老健大会

◆日程 / 平成22年5月20日(木)  
(受付10:00)  
平成22年5月21日(金)  
(受付 8:30)

◆会場 / 鳥羽シーサイドホテル  
(コンベンションホール)

会員施設皆様の参加及びご協力をよろしくお願い致します。

### 第21回 全国介護老人 保健施設大会 岡山

◆会期 / 平成22年11月10日(水)  
▼  
平成22年11月12日(金)

◆メイン会場 / ホテルグランヴィア岡山

会員施設皆様の参加及びご協力をよろしくお願い致します。



# 県内老人保健施設地区別所在地案内

各施設の窓口が直接利用のご希望をお受けいたします。  
まずはお気軽にお電話下さい。

## 東部地区

|               |                              |                    |
|---------------|------------------------------|--------------------|
| リ バ ブ ル ケ ア   | 〒418-0105 富士宮市原682           | TEL (0544) 54-1800 |
| タ カ ネ 園       | 〒410-0305 沼津市鳥谷611-1         | TEL (055) 967-8800 |
| み く り や 園     | 〒412-0042 御殿場市萩原354-1        | TEL (0550) 83-3567 |
| ヒューマンライフ富士    | 〒417-0801 富士市大淵3901-1        | TEL (0545) 36-0511 |
| 富士ケアセンター      | 〒418-0035 富士宮市星山1129         | TEL (0544) 22-3111 |
| 安 寧 の 郷       | 〒410-2315 伊豆の国市田京1258-44     | TEL (0558) 76-8100 |
| 梅 名 の 里       | 〒411-0816 三島市梅名578           | TEL (055) 977-8686 |
| 長泉ケアセンター博寿園   | 〒411-0945 駿東郡長泉町本宿418-1      | TEL (055) 989-1121 |
| お お ひ ら       | 〒410-0821 沼津市大平1117-1        | TEL (055) 934-1165 |
| あ す な ろ       | 〒412-0045 御殿場市川島田1076-2      | TEL (0550) 88-0007 |
| 熱海ナーシングホーム翔寿園 | 〒413-0002 熱海市伊豆山字七尾原1173-172 | TEL (0557) 80-3712 |
| き き ょ う の 郷   | 〒416-0946 富士市五貫島175          | TEL (0545) 65-2000 |
| ラ・サンテふよう      | 〒411-0047 三島市佐野1205-3        | TEL (055) 989-7000 |
| の ゑ み         | 〒414-0001 伊東市宇佐美2405-2       | TEL (0557) 48-0658 |
| み ゆ き の 苑     | 〒418-0005 富士宮市宮原337-4        | TEL (0544) 28-3900 |
| 河 津 お も と 苑   | 〒413-0502 賀茂郡河津町川津筏場1512-18  | TEL (0558) 35-7770 |
| し お さ い       | 〒410-3514 賀茂郡西伊豆町仁科243-1     | TEL (0558) 52-3000 |
| な ぎ さ 園       | 〒415-0152 賀茂郡南伊豆町湊674        | TEL (0558) 62-6800 |
| ひ ろ み         | 〒417-0801 富士市大淵39-1          | TEL (0545) 21-6600 |
| グリーンズ修善寺      | 〒410-2413 伊豆市小立野100-2        | TEL (0558) 74-3300 |
| サ ン 静 浦       | 〒410-0106 沼津市志下344-1         | TEL (055) 934-6000 |
| 椎 路 の 里       | 〒410-0302 沼津市東椎路32-1         | TEL (055) 927-3900 |
| 夢 の 樹 の 郷     | 〒411-0902 駿東郡清水町玉川183-1      | TEL (055) 971-1000 |
| みしゅくケアセンターわか葉 | 〒410-1107 裾野市御宿1475          | TEL (055) 997-8181 |
| い か る 野       | 〒418-0105 富士宮市原709           | TEL (0544) 54-3200 |
| み は ら し       | 〒414-0055 伊東市岡187            | TEL (0557) 37-3804 |
| ふれあいの下田       | 〒415-0013 下田市柿崎32-10         | TEL (0558) 27-0700 |
| い と う の 杜     | 〒414-0002 伊東市湯川288-9         | TEL (0557) 35-4165 |
| サンビューみしま      | 〒411-0801 三島市谷田字藤久保2276      | TEL (055) 983-6050 |
| か ぐ や 富 士     | 〒417-0826 富士市中里2546-7        | TEL (0545) 32-2150 |

## 中部地区

|               |                            |                    |
|---------------|----------------------------|--------------------|
| ケアセンター瀬名      | 〒420-0903 静岡市葵区長尾39-5      | TEL (054) 264-2221 |
| あ か つ き の 園   | 〒424-0917 静岡市清水区駒越2883-1   | TEL (054) 334-5533 |
| ケア・センターひまわり   | 〒424-0934 静岡市清水区村松原1-2-34  | TEL (054) 336-3033 |
| 焼津ケアセンター      | 〒425-0062 焼津市中根新田1315      | TEL (054) 623-8111 |
| コミュニティーケア高草   | 〒425-0005 焼津市方ノ上358-1      | TEL (054) 627-5588 |
| サ ン ラ イ ズ 大 浜 | 〒422-8045 静岡市駿河区西島528      | TEL (054) 282-2839 |
| 楽 寿           | 〒421-2115 静岡市葵区与左衛門新田98-11 | TEL (054) 296-1112 |
| こ み に         | 〒420-0963 静岡市葵区赤松8-16      | TEL (054) 209-7000 |
| ケアセンターゆうゆう    | 〒425-0052 焼津市田尻4           | TEL (054) 625-0321 |
| カリタス・メンテ      | 〒426-8662 藤枝市水上123-1       | TEL (054) 643-1266 |
| グリーンヒルズ藤枝     | 〒426-0133 藤枝市宮原420-1       | TEL (054) 639-1234 |
| エ コ ト ー プ     | 〒428-0007 島田市島534-1        | TEL (0547) 45-0111 |
| ア ポ ロ ン       | 〒427-0047 島田市中溝町1714-1     | TEL (0547) 34-2000 |

# 中部地区

|             |           |                |                    |
|-------------|-----------|----------------|--------------------|
| アリス草薙       | 〒424-0886 | 静岡市清水区草薙424-7  | TEL (054) 347-6511 |
| 萩の里         | 〒422-8018 | 静岡市駿河区西大谷12-5  | TEL (054) 236-1155 |
| はるかぜ        | 〒421-0514 | 牧之原市菅ヶ谷1240-1  | TEL (0548) 52-7771 |
| きよみの里       | 〒424-0203 | 静岡市清水区興津東町1829 | TEL (054) 369-7700 |
| 葵の里         | 〒421-0135 | 静岡市駿河区小坂376-1  | TEL (054) 257-2281 |
| 芙蓉の丘        | 〒421-3306 | 富士市中之郷2500-1   | TEL (0545) 56-2311 |
| あみ          | 〒421-2109 | 静岡市葵区福田ヶ谷73-2  | TEL (054) 206-1777 |
| コミュニティーケア吉田 | 〒421-0302 | 榛原郡吉田町川尻1700-1 | TEL (0548) 34-5577 |
| さくら         | 〒427-0011 | 島田市東町1331      | TEL (0547) 33-0800 |
| マインド        | 〒426-0075 | 藤枝市瀬戸新屋487-2   | TEL (054) 643-3601 |
| フォレスト藤枝     | 〒426-0033 | 藤枝市小石川町2-8-13  | TEL (054) 647-3833 |
| かりん         | 〒421-0105 | 静岡市駿河区宇津ノ谷1-1  | TEL (054) 268-6666 |
| ケアセンター池田の街  | 〒422-8005 | 静岡市駿河区池田185-1  | TEL (054) 267-2211 |
| 鶴舞乃城        | 〒424-0114 | 静岡市清水区庵原町3158  | TEL (054) 361-1234 |
| ユニケア岡部      | 〒421-1131 | 藤枝市岡部町内谷1473-3 | TEL (054) 667-5555 |
| エスコートタウン静清  | 〒420-0821 | 静岡市葵区柚木90-1    | TEL (054) 267-1010 |

# 西部地区

|                |           |                  |                    |
|----------------|-----------|------------------|--------------------|
| 西山ウエルケア        | 〒432-8001 | 浜松市西区西山町411-2    | TEL (053) 485-5500 |
| 三方原ベテルホーム      | 〒431-1304 | 浜松市北区細江町中川7421-1 | TEL (053) 436-6600 |
| みっかび東介護老人保健施設  | 〒431-1404 | 浜松市北区三ヶ日町宇志34-1  | TEL (053) 524-2000 |
| 都ケアセンター        | 〒431-2102 | 浜松市北区都田町7555-52  | TEL (053) 428-3133 |
| なかよし           | 〒438-0838 | 磐田市小立野135-1      | TEL (0538) 34-6543 |
| エーデルワイス        | 〒434-0041 | 浜松市浜北区平口2405     | TEL (053) 585-1500 |
| ハイマート有玉        | 〒431-3122 | 浜松市東区有玉南町1436    | TEL (053) 434-7877 |
| 白梅ケアホーム        | 〒431-1112 | 浜松市西区大人見町3011-1  | TEL (053) 485-7711 |
| 入野ケアセンター       | 〒432-8061 | 浜松市西区入野町6417     | TEL (053) 440-1200 |
| 於保老健センター       | 〒437-1216 | 磐田市一色26          | TEL (0538) 58-2550 |
| エバーグリーン掛川      | 〒436-0043 | 掛川市大池680         | TEL (0537) 21-0550 |
| すずかけの街         | 〒430-0918 | 浜松市中区八幡町181      | TEL (053) 476-1156 |
| さいわい           | 〒431-3423 | 浜松市天竜区渡ヶ島221     | TEL (053) 583-1156 |
| おおふじ五幸ホーム      | 〒438-0002 | 磐田市大久保508-3      | TEL (0538) 38-5511 |
| さくらの苑          | 〒438-0074 | 磐田市二之宮字仙水1162    | TEL (0538) 33-3800 |
| 神子の園           | 〒436-0084 | 掛川市逆川100         | TEL (0537) 20-0080 |
| 袋井ケアセンター       | 〒437-0003 | 袋井市萱間933-1       | TEL (0538) 49-4911 |
| まんさくの里         | 〒431-0422 | 湖西市岡崎1353-1      | TEL (053) 572-3911 |
| はまおか           | 〒437-1688 | 御前崎市池新田2070      | TEL (0537) 86-8822 |
| 花平ケアセンター       | 〒431-2211 | 浜松市北区引佐町花平708    | TEL (053) 542-4187 |
| 白脇ケアセンター       | 〒430-0846 | 浜松市南区白羽町1424     | TEL (053) 444-3131 |
| みかたはら介護老人保健施設  | 〒433-8105 | 浜松市北区三方原町675-6   | TEL (053) 438-5886 |
| ケアセンター芳川       | 〒430-0838 | 浜松市南区巣野町24       | TEL (053) 426-0003 |
| 天王介護老人保健施設     | 〒435-0051 | 浜松市東区市野町2495     | TEL (053) 423-1070 |
| あおばケアガーデン      | 〒437-1302 | 掛川市大淵4345        | TEL (0537) 48-0002 |
| 風の杜            | 〒437-0214 | 周智郡森町草ヶ谷104-1    | TEL (0538) 85-1121 |
| さわだの庄          | 〒439-0037 | 菊川市西方5511        | TEL (0537) 35-8889 |
| 白梅豊岡ケアホーム      | 〒438-0126 | 磐田市下神増183-1      | TEL (0539) 62-1601 |
| ナーシングホームオンフルール | 〒437-0023 | 袋井市高尾1439-3      | TEL (0538) 45-0080 |
| 五洋の里           | 〒438-0234 | 磐田市掛塚3190-1      | TEL (0538) 67-1755 |
| 長鶴の郷           | 〒435-0031 | 浜松市東区長鶴町290      | TEL (053) 423-2700 |
| あらたま           | 〒434-0004 | 浜松市浜北区宮口3152     | TEL (053) 582-3211 |
| えいせい掛川介護老人保健施設 | 〒436-0342 | 掛川市上西郷8021       | TEL (0537) 20-1611 |



# 介護老人保健施設の理念と役割

## 理念

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

## 《5つの役割と機能》

1

### ■包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2

### ■リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3

### ■在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4

### ■在宅生活支援施設

自立した在宅生活が続けられるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5

### ■地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

## 静岡県老人保健施設協議会

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町3011番地の1

介護老人保健施設 白梅ケアホーム 内

TEL<053>485-7711 FAX<053>485-7712

<http://www.rouken-shizuoka.jp/>